

**PART 3 of 3**  
Himeji City Aquarium

Tegarayama, Himeji City  
670, Japan

June 9th 1983

Dear *MR. George Balazs*

I have obtained this book from General Merchandise Exporters' Association in Japan.

This book is illustrated book on hawksbill turtle ( Japanese name is " Taimai-ki Zusetsu ", Taimai-ki means hawksbill turtle Zusetsu means illustrated book ) was compiled in 1841, Edo period by Mr. Naokichi Kaneko.

The book is old famous and important one for understand Japanese traditional Bekko work in Japan. This is the first time to translate to living language as literal translation.

The most of instruments and methods applied on Bekko works are not so different in the present.  
This may interest to you.

Sincerely

*J. Uchida*

Dr. Itaru Uchida

Himeji City Aquarium  
Nobusue, Tegarayama.  
Himeji City 670.  
Japan

*P/s. I will sent a book  
by other envelope.*

*The Picture Book of Hawksbill Turtle*

姫路市立水族館  
Tel 0792-89-0321



復版「玳瑁龜凶説」天・地

編者 金子直吉  
校者 石川泓美



玳瑁龜圖説 原本（天・地）  
（国立国会図書館蔵）

櫛

橫 四寸五分位  
山 一寸六七分  
耳 一寸三分  
厚 二三分  
土臺斑入

長九寸一尺位  
巾 四分五分位  
厚 貳分位  
桐斑入



長七八寸  
巾 三分五分位  
厚 三分位



櫛

橫 四寸五分位  
山 一寸六七分  
耳 一寸一二分  
厚 一三分  
土臺斑入

長九寸一尺位  
巾 四分五六厘  
厚 貳分位  
桐斑入

長七八寸  
上巾 三分五厘  
厚 三分位

簪

長六七寸  
巾四分  
厚貳分  
石持頭付簪  
前差琴柱



石持頭付簪

石持頭付簪  
石持頭置揚  
五分九位  
長巾厚上と同じ



三十一

簪

長六七寸  
巾四分  
厚貳分  
石持頭付簪  
前差琴柱

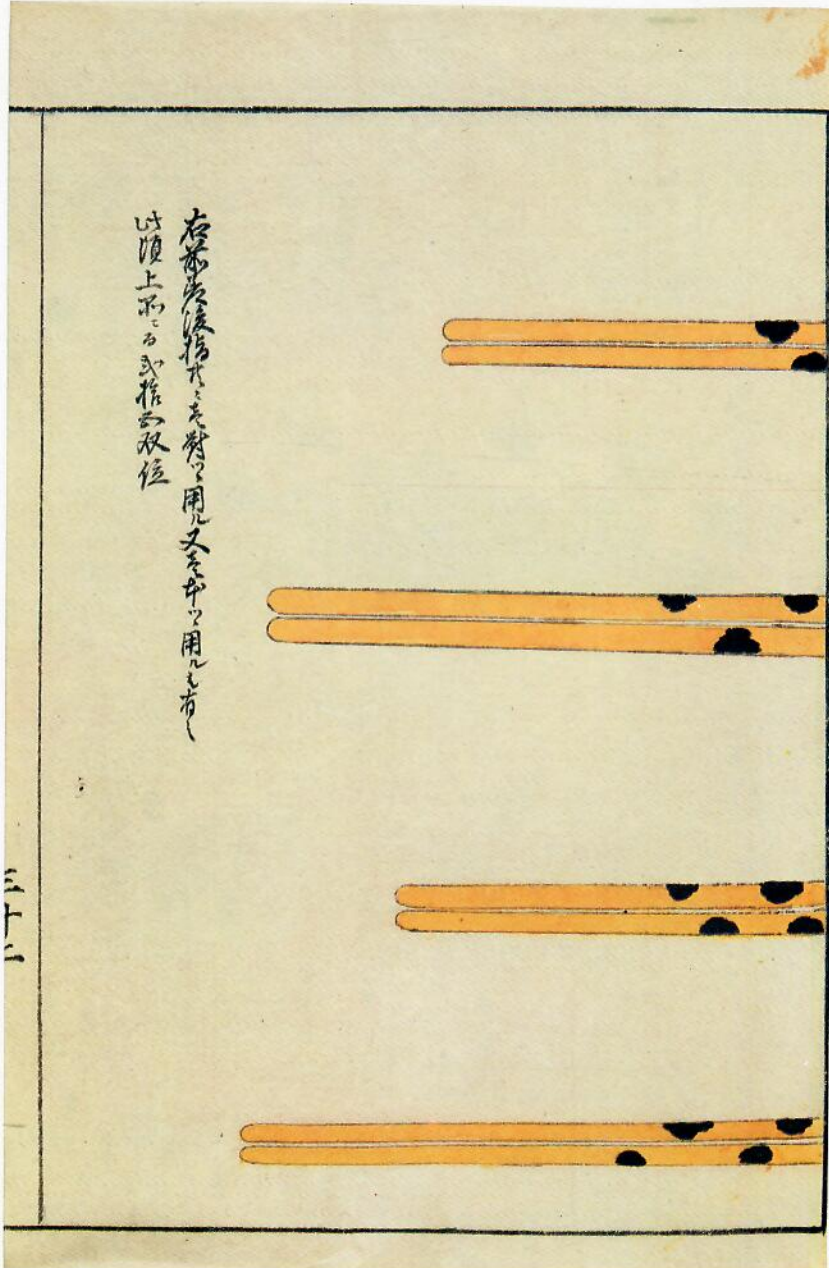
石持頭付簪

石持頭置揚

五分九位

長巾厚上と同じ

長巾厚上と同じ



三十二

右前差後指とも壹對づつ用ひる、  
又壹本づつ用ひるも之れ有り。  
此の頃上品にて貳拾五双位

越後向山高櫛

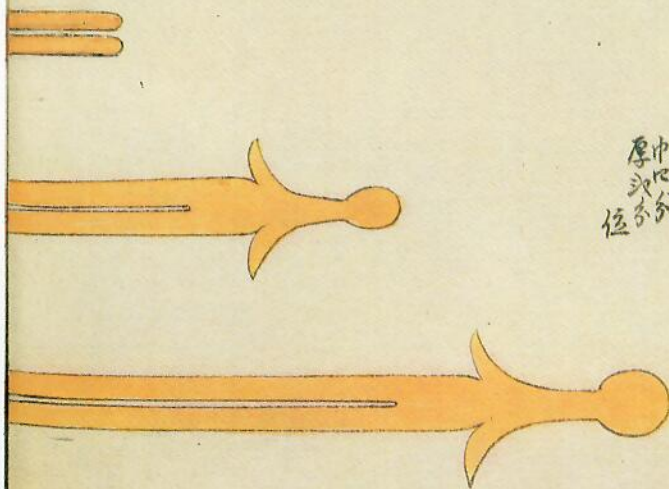
此は越後國より  
本居屋敷に  
澤山拵へ送り候  
形又同形にて  
ばらふ品も澤  
山拵へ送る

横 四寸八九分  
山 貳寸二分  
耳 壹寸四分  
厚 壹貳分



羽根松葉簪

長 六七寸  
巾 四寸  
厚 貳分  
位



越後向山高櫛

此の頃越後國より

本店へ注文之れ有り

澤山拵へ送り候

形又同形にて

ばらふ品も澤

山拵へ送る

羽根松葉簪

長 六七寸

巾 四寸

厚 貳分

位

横 四寸八九分  
山 貳寸二分  
耳 壹寸四分  
厚 壹貳分

小町琴柱簪  
 長五寸  
 巾四分  
 厚貳分  
 位



片琴柱簪



三十一

小町琴柱簪  
 長五寸  
 巾四分  
 厚貳分  
 位

片琴柱簪





欄檻棟栿棟丸

欄檻棟栿棟丸し

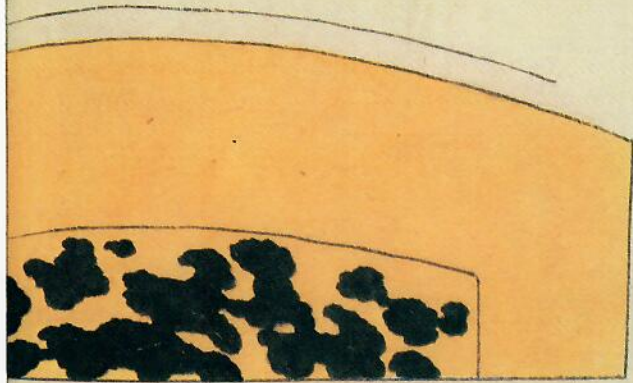


向差花簪

生花作る物多し、祝差などに用ひる又花は品々有り、是れへ短冊を付けたるも有り

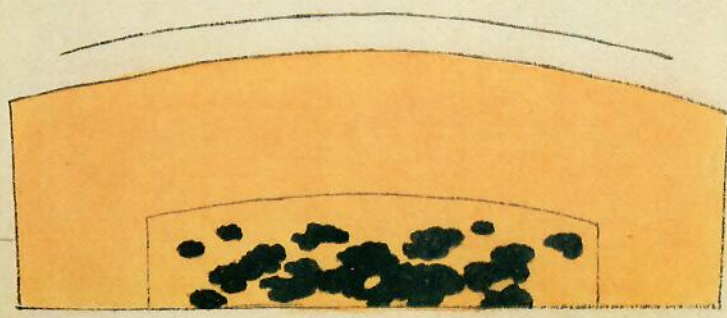
足長さ 三寸五六分

文化の始より文政八歳頃迄流布面



大形櫛

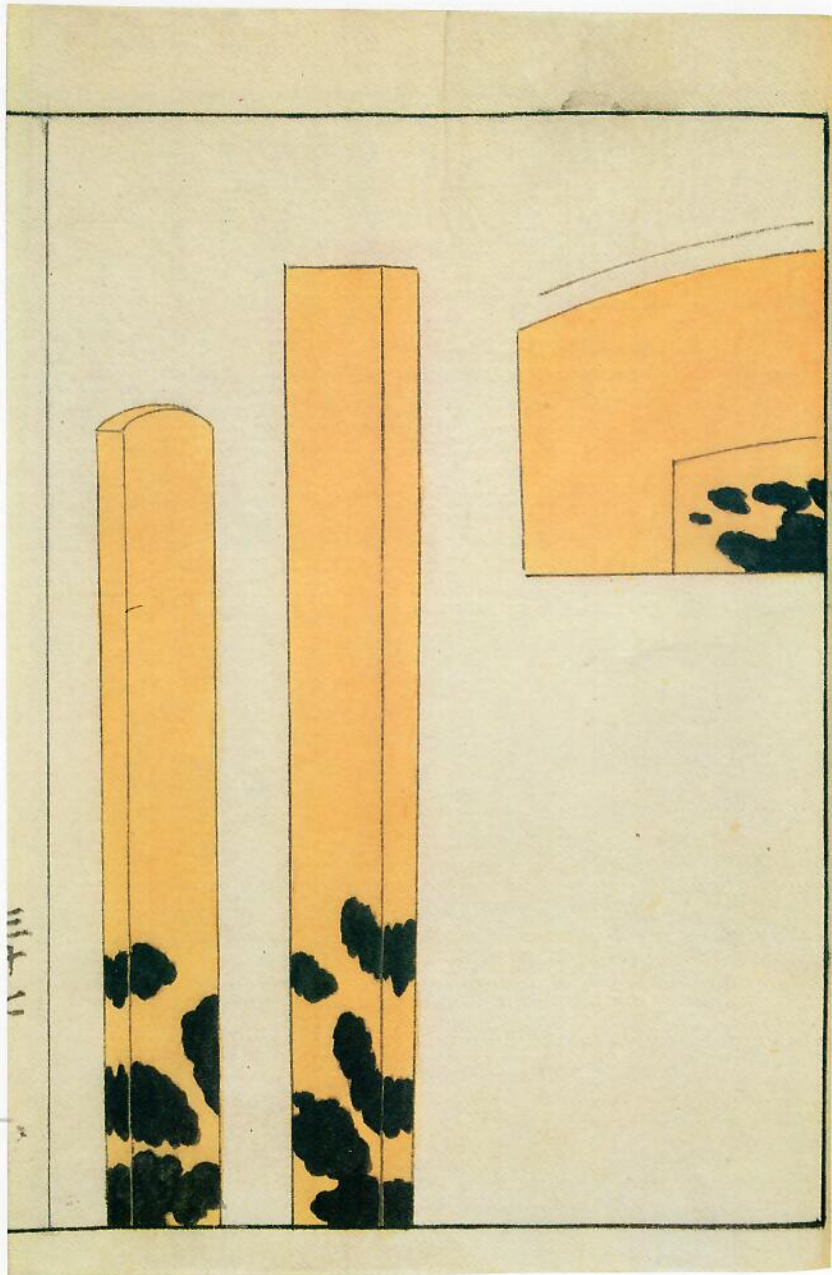
横 六七寸位  
 稀 八寸有  
 山 二寸五分  
 耳 一寸五分  
 厚 二分五厘  
 目方 貳拾分位



文化の始より文政八歳の頃まで流布面

大形櫛

横 六七寸位  
 稀 八寸有  
 山 二寸五分  
 耳 一寸五分  
 厚 二分五厘  
 目方 貳拾分位



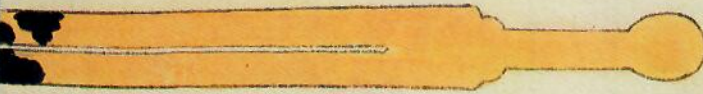
權形筭  
 長八九寸  
 巾五分  
 厚三分  
 位  
 惣面取



筭小形  
 長八九寸  
 巾五分  
 厚三分  
 位



前差琴柱位  
 長六寸五分  
 巾六七分  
 厚貳三分  
 位

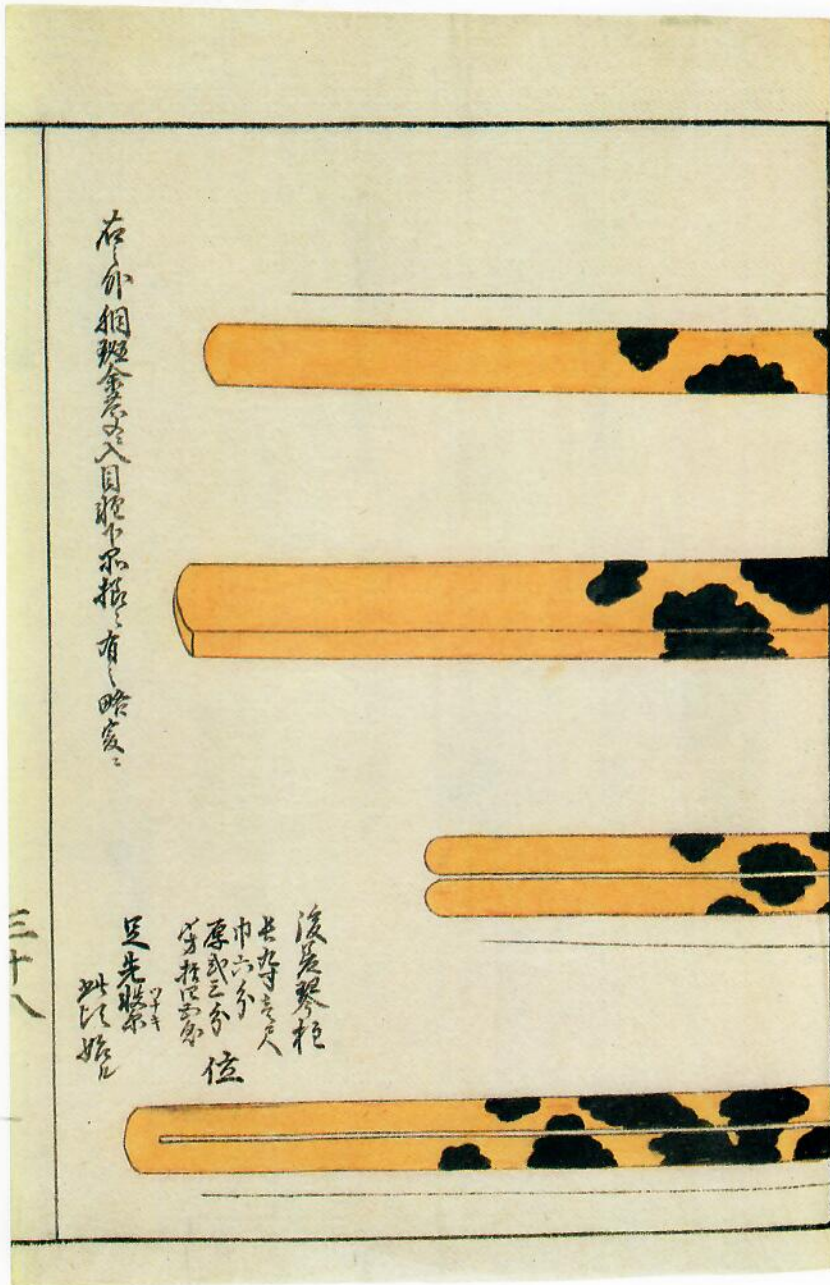


權形筭  
 長八九寸  
 巾五分  
 厚三分  
 位

筭小形  
 長八九寸  
 巾五分  
 厚二三分  
 位

前差琴柱  
 長六寸五分  
 巾六七分  
 厚貳三分  
 位

惣面取



右の外胴斑余慶に入れ目軽、下有略

後差琴柱  
 長九寸壹尺  
 巾六分  
 厚貳三分位  
 足先繫  
 此の頃始る

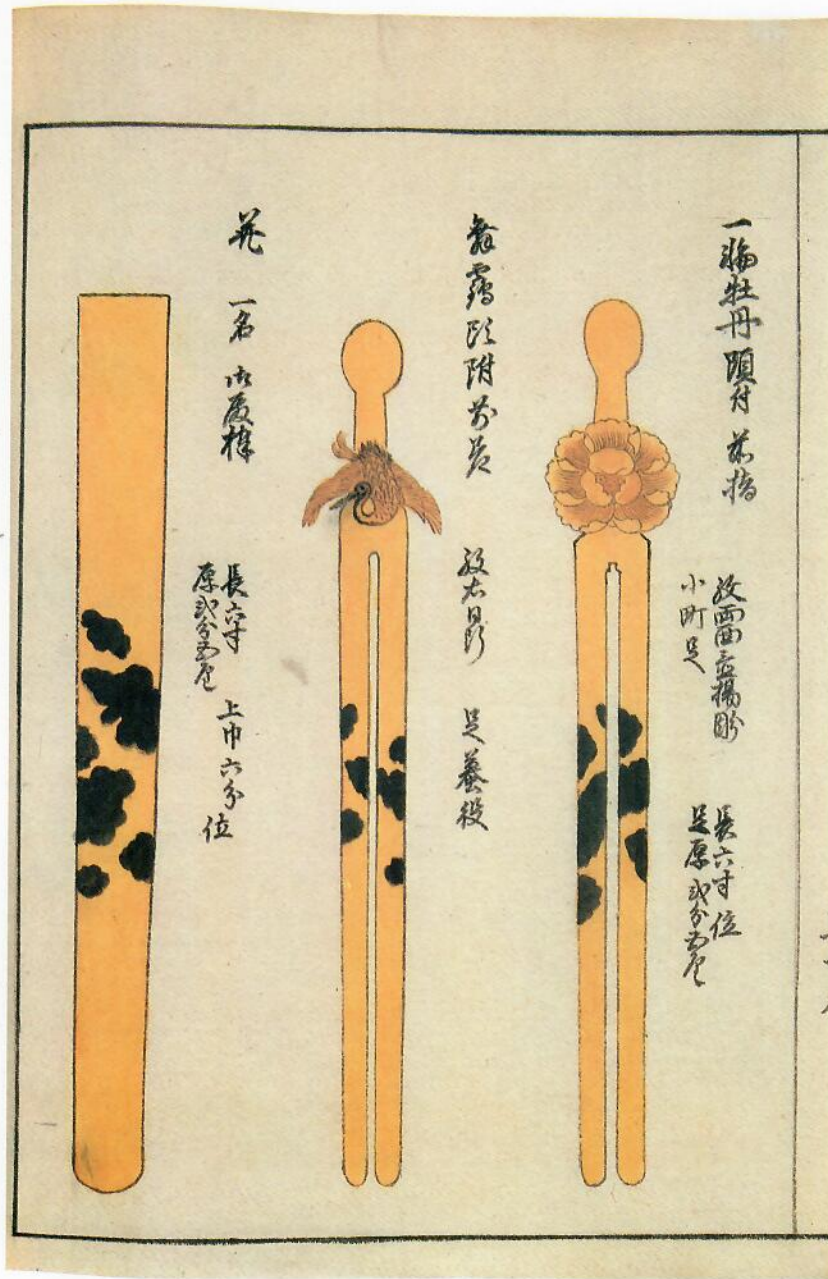
三十八

右の外胴斑余慶に入れ目軽、下品  
 様々之れ有り爰に略す。

後差琴柱

長九寸壹尺  
 巾六分  
 厚貳三分位  
 足先繫

此の頃始る



一輪牡丹頭付 前指

紋面置揚彫  
小町足

長六寸位  
足厚貳分五厘

舞鶴頭附前差

紋右同断

足養役

花 一名 水履棒

長六寸 上巾六分位  
厚貳分五厘

一輪牡丹頭付 前指

紋面置揚彫  
小町足

長六寸位  
足厚貳分五厘

舞鶴頭附前差

紋右同断

足養役

并 一名 御殿棒

長六寸 上巾六分位  
厚貳分五厘



五  
天  
鉦合

両  
天

紋  
形  
悉  
不  
可  
言

紋、あご打ち形、中八黒白、甲也  
紋、あご打ち形、中八黒白、甲也  
作、あご性、肉中、小ひび、一面、有

梅

牡丹

あご紋、あご性、大流、行、致、候、故、爰、に、圖、す

穴

ねじ

仮、是、を、差、髪、を、  
通、し、是、れ、を、除、い、て、頭、  
を、差、す

雄捻

鉦合  
かんざし 両龍

両天 紋品々悉く圖すべからず紋  
はあご打出し形にて作る、中は  
黒白ともに甲なり。紋置揚にて  
貳分五厘位横山町大文殿始めて  
作る。あご性、肉中に小ひび一  
面に有り。

牡丹

ねじ

穴

雌捻

梅

あご紋品々候へども、  
大流行致し候故爰に圖す



砧形筭

両差  
長九寸位  
両上巾五分位  
厚貳分五厘  
三分位

爰に捺有り

胴は丸



文化年未頃此形ヲ  
著居跡若為殿作始  
先年此形ヲ謂有只形  
色有、龍頭等も毛彫  
也肉も薄し  
長八九寸  
柄厚貳分五厘位  
同巾三分七厘

三十一

砧形筭

両差  
長九寸位  
両上巾五分六分位  
厚貳分五厘  
三分位

文化年の末の頃此の形を  
萬屋弥右衛門殿作り始める。  
先年此の形を謂ふ有り、只形  
のみ之れ有り、龍頭等も毛彫  
なり。肉も薄し。

長八九寸  
柄厚貳分五厘位  
同巾三分七厘

爰に捺有り

胴は丸

文化の始  
 萬屋源治郎殿  
 始て此の形を作



青龍刀筭

珊瑚珠

龍頭丸彫  
 火炎珊瑚用  
 ルコトモ有之



日十

龍頭丸彫

火炎珊瑚用ひる  
 ことも之れ有り。

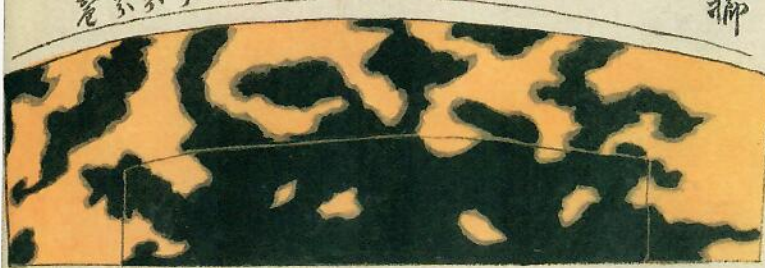
珊瑚珠

青龍刀筭

文化の始め頃  
 萬屋源治郎殿  
 始めて此の形を作る

挽拔櫛

横 五寸三分  
山 壹寸七分  
耳 壹寸四分  
厚 壹分五厘



同利休形  
一名齒櫛

横 四寸五分  
山 壹寸貳分  
耳 九分  
厚 壹分五六厘

荒齒  
中齒有



挽拔櫛

同利休形  
一名齒櫛

横 五寸三分  
山 壹寸七分  
耳 壹寸四分  
厚 壹分五厘

横 四寸五分  
山 壹寸貳分  
耳 九分  
厚 壹分五六厘

荒齒  
中齒 有り

花簪  
檜扇牡丹



牡丹枝ツク扇止但牡丹生花依  
蝶下り或ツ扇より弁りたる  
扇六寸二分  
四方  
目方  
惣長  
六寸二分

足長四寸 巾三分三厘 厚七八厘

花簪

檜扇牡丹

牡丹枝ツクにて扇へ

止む。但し牡丹は生

花に作る。蝶下り或

ツ扇よりクサリにて

下る。扇の開き貳寸

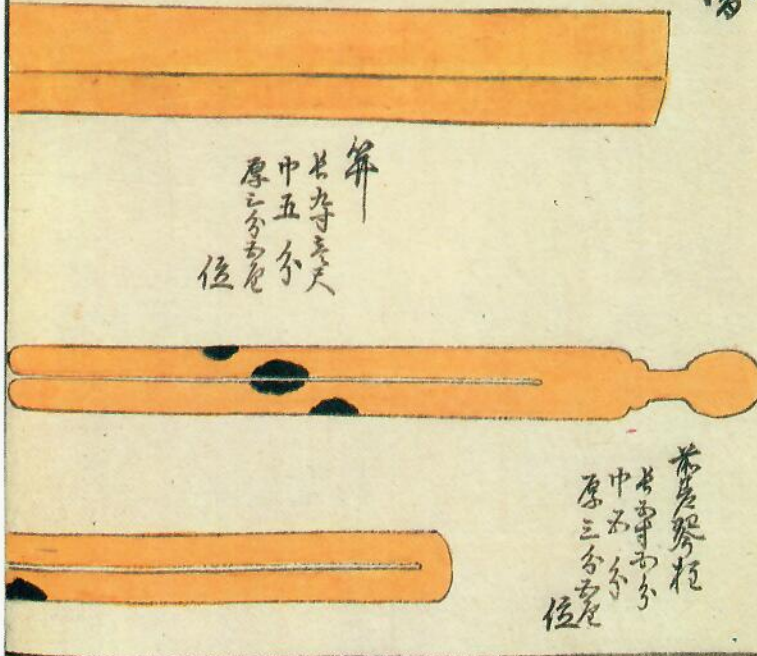
目方 貳分貳三分  
惣長 六寸貳三分

足長 四寸

巾 三分三厘 厚 七八厘

文政八年日後流布場

文化始め茶席大形糸流布、此頃江戸藝者等亦皆用之、市中同流布、又文政八年右藝者大造成粧御差止め之れ有り、以後追々小形厚き品流布



筭  
長九寸壹尺  
巾五分  
厚三分五厘  
位

茶席琴柱  
長五寸五分  
巾五分  
厚三分五厘  
位

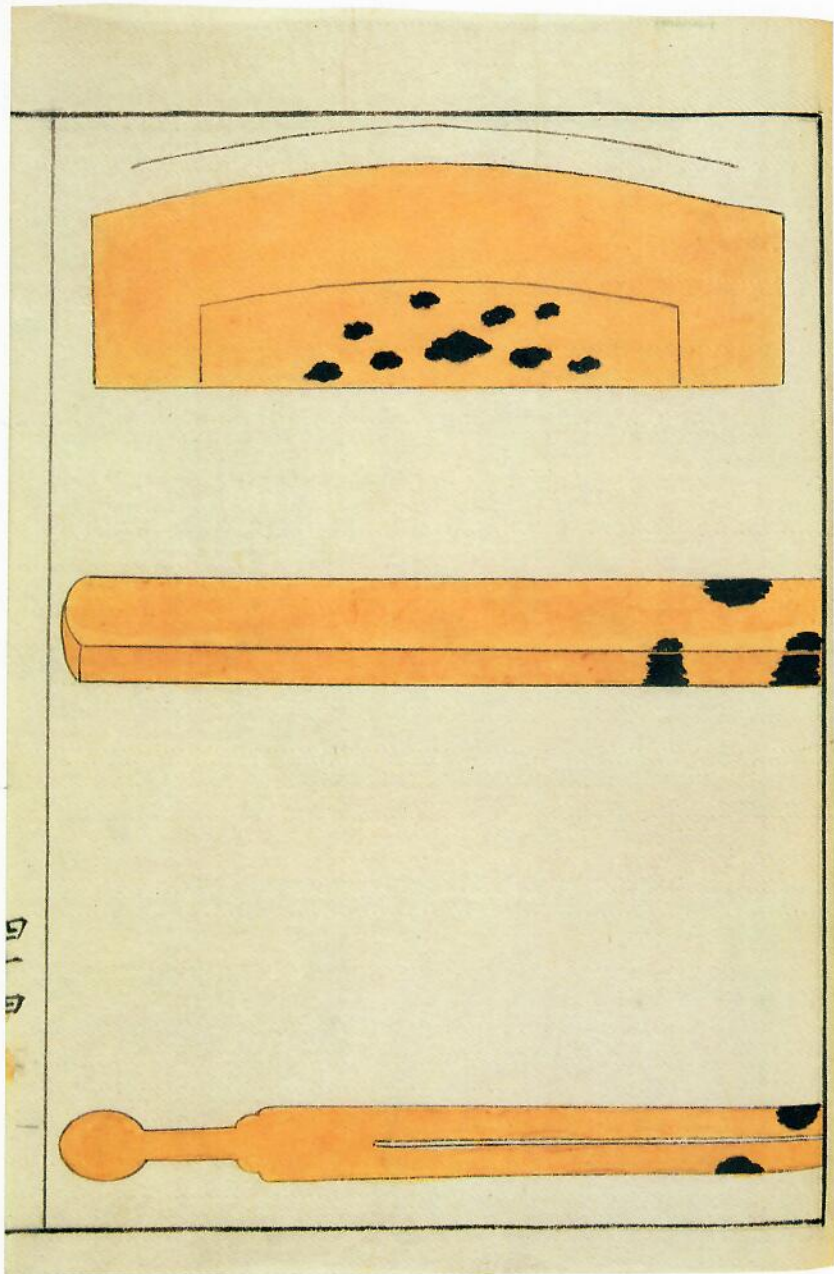
四十三

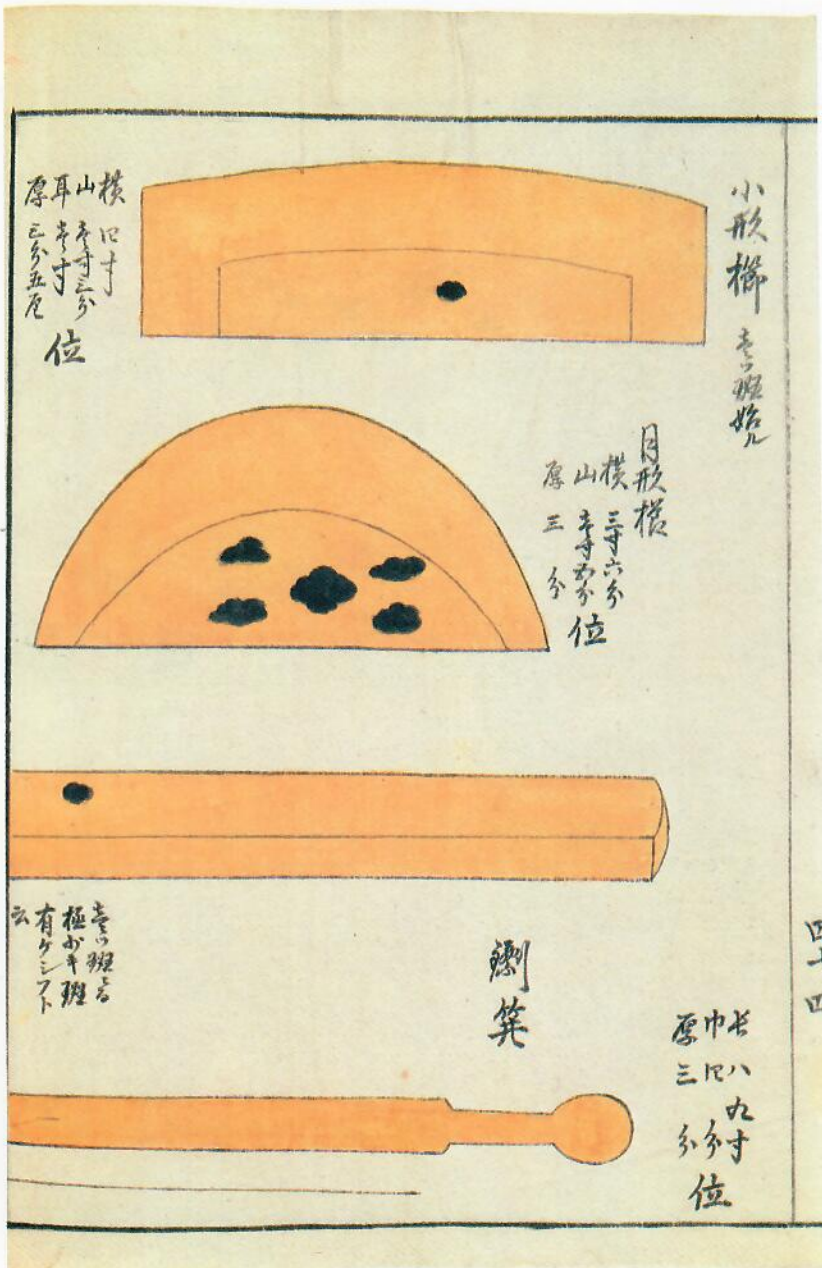
文政八年日後流布圖

文化始めより前圖大形の品流布、此の頃江戸藝者等右等の品を用ひる。市中同じく流行す。文政八年右藝者大造成る粧御差止め之れ有り。以後追々小形厚き品流布す。

前差琴柱  
長 五寸五分  
巾 五分  
厚 三分五厘  
位

筭  
長 九寸壹尺  
巾 五分  
厚 三分五厘  
位





四十四

小形櫛 壹つ斑始まる

長 八九寸  
巾 四分位  
厚 三分

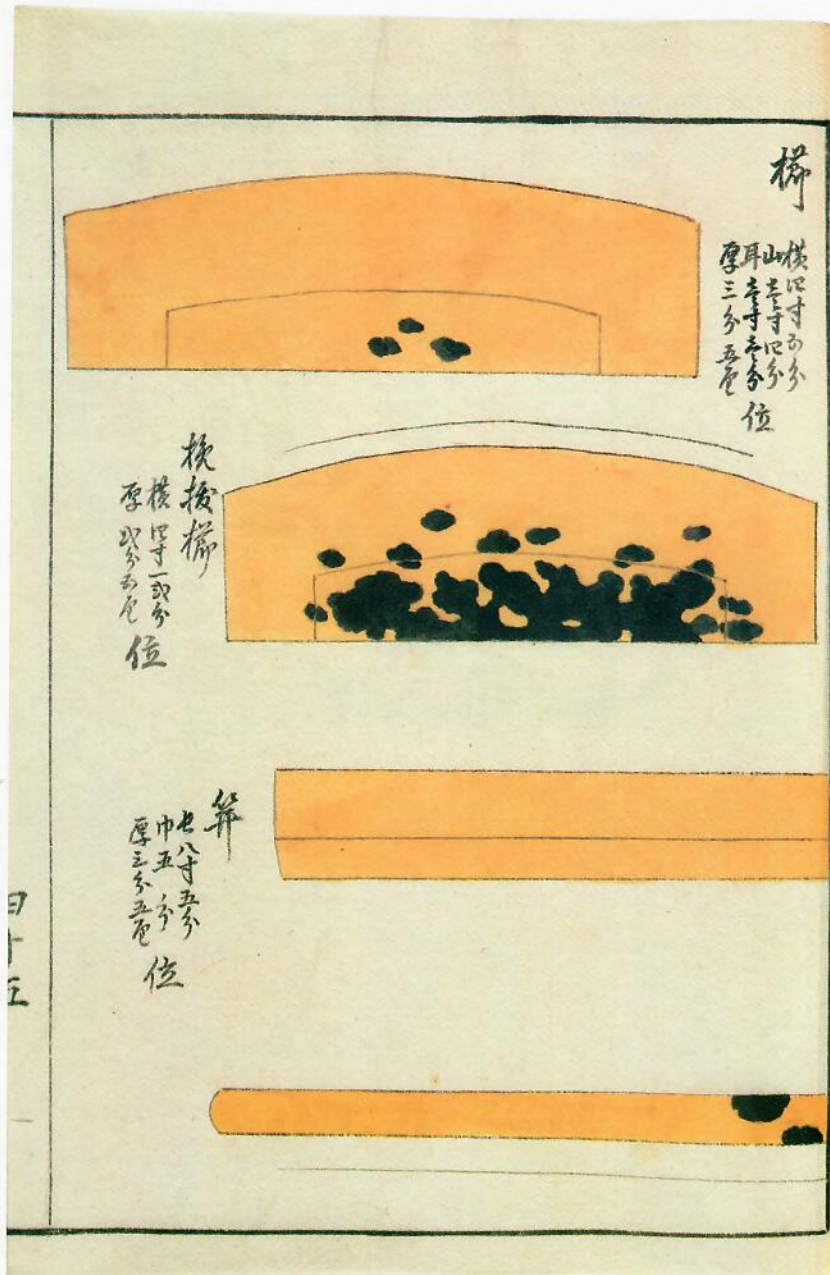
月形櫛

横 三寸五分  
山 壹寸五分位  
厚 三分

測筭

横 四寸  
山 壹寸三分  
耳 壹寸位  
厚 三分五厘

壹つ斑にて極めて少き斑有りケシフと云ふ



橋

横四寸五分  
山壹寸四分  
耳壹寸壹分  
厚三分五厘  
位

挽抜橋

横四寸五分  
厚三分五厘  
位

筭

長八寸五分  
巾五分  
厚三分五厘  
位

日十五

橋

横 四寸五分  
山 壹寸四分  
耳 壹寸壹分  
厚 三分五厘  
位

挽抜橋

横 四寸一貳分  
厚 貳分五厘  
位

筭

長 八寸五分  
巾 五分  
厚 三分五厘  
位



糴形筭



長七八寸  
巾五分  
厚三分  
位

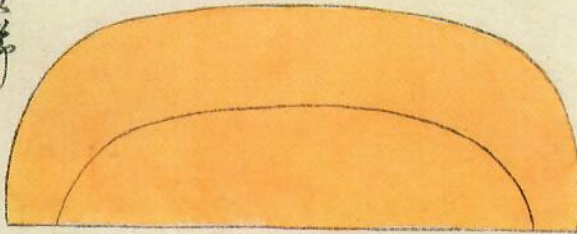
挽拔椽

横三寸五分



政子形椽

横三寸五分  
巾五分  
厚三分  
位  
方八九寸



ケシフ

四一五

糴形筭

挽拔椽

横三寸四分

長七八寸  
巾五分  
厚三分

政子形椽

横三寸五分より  
四寸四五分まで有り  
厚三分位  
方八九寸

ケシフ

挽拔政子秋栞

横 一寸五分位



指込

一名無双  
彫細工物

此節差込先年より追々大形に成  
肉厚く以て此等より先年より後段に  
附用ルルに極極有る只一試  
品

ワモト  
藜芦  
實ハ珊瑚珠

椿



挽拔政子形飾

横 一寸五分位

指込

一名無双  
彫細工物

此の節差込み、先年より追々大形に相成る。肉厚く此等の圖は多分後差へ附け用ひる処なり。模様品々之れ有り、只一貳を圖る。

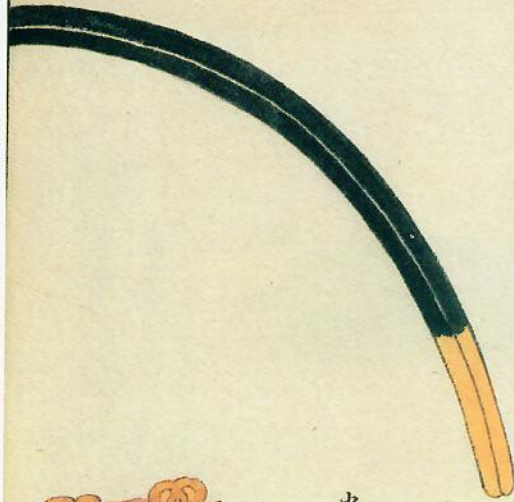
藜芦

實は珊瑚珠

椿

鬘張

此は市中に多く此形を用  
 天保のころに至りて  
 追々鬘張用ひる事  
 町中にては少し



光琳菊

三輪梅



梅

実珊瑚珠



鬘張

此の節市中にて多く  
 此の形を用ひる。猶  
 天保のころに至りて  
 は追々鬘張用ひる事  
 町中にては少し。

三輪梅

光琳菊  
 櫻

実は珊瑚珠



長 壹尺壹寸位  
 巾 貳分位  
 厚 旧  
 上面 加傷不以此

牡丹に蝶

蝶は牡丹に黒斑を用ひる物有り  
 蝶は牡丹へ取り付く

右差込み圖面より小き肉彫も様々之れ有り。先年は甲にて持出しくだなり。近年紛にて別に拵へ、つくにて取付ける

牡丹に蝶

蝶の羽へ黒斑を用ひる物有り。  
 蝶は牡丹へ取り付く。

長 壹尺壹寸位  
 巾 貳分位  
 上面 かまぼこ

これらの大きさの物、多分諸  
 家方拵へ付け用る事始まる。  
 右差込み圖面より小き肉彫も様々之れ有り。先年は甲にて持出しくだなり。近年紛にて別に拵へ、つくにて取付ける

持出し筥 諸侯方にて多用ル



笏形持出し筥

持出し筥、半  
肉より上へ置揚  
肉彫



老掛 櫻

四十七

持出し筥 諸侯方にて多く用ひる

笏形持出し筥

持出しは筥の半  
肉より上へ置揚  
肉彫

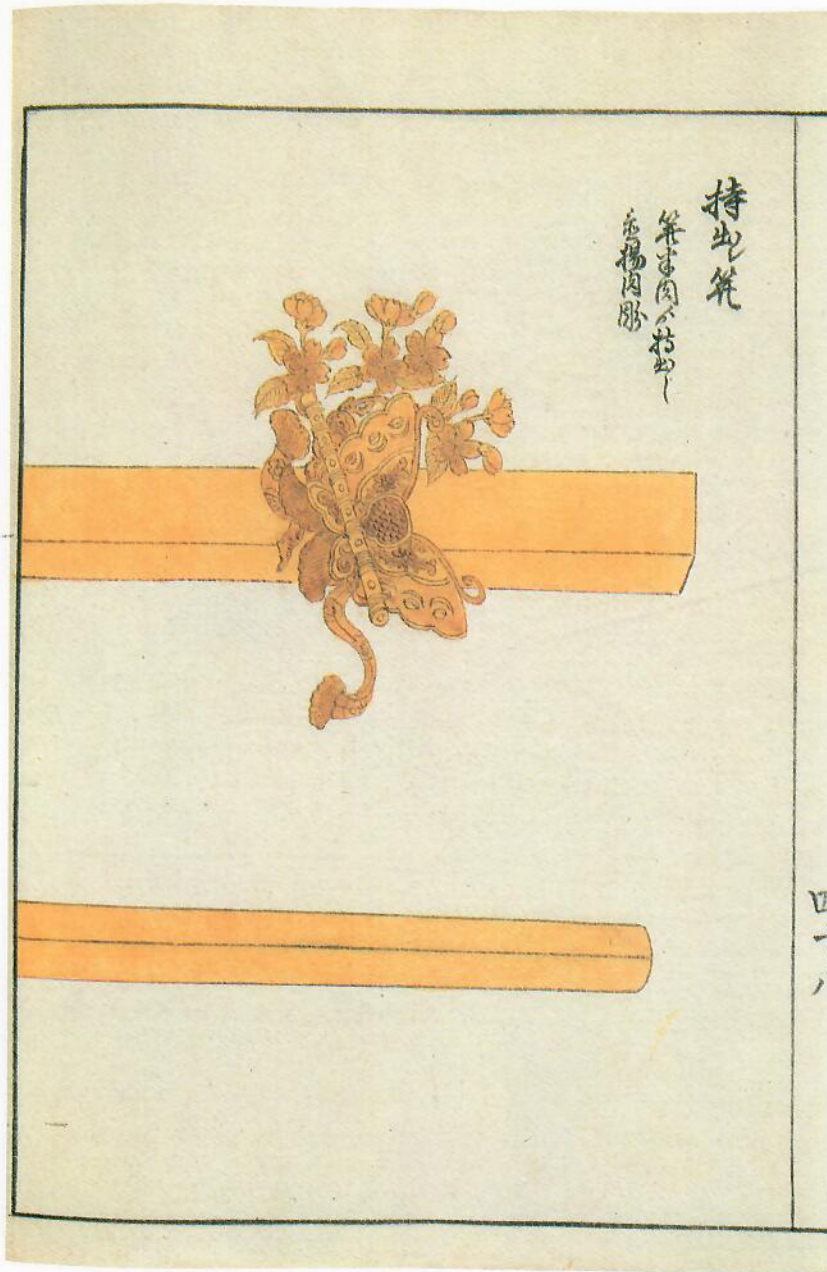
老掛 櫻



筆形笄

黒甲接分

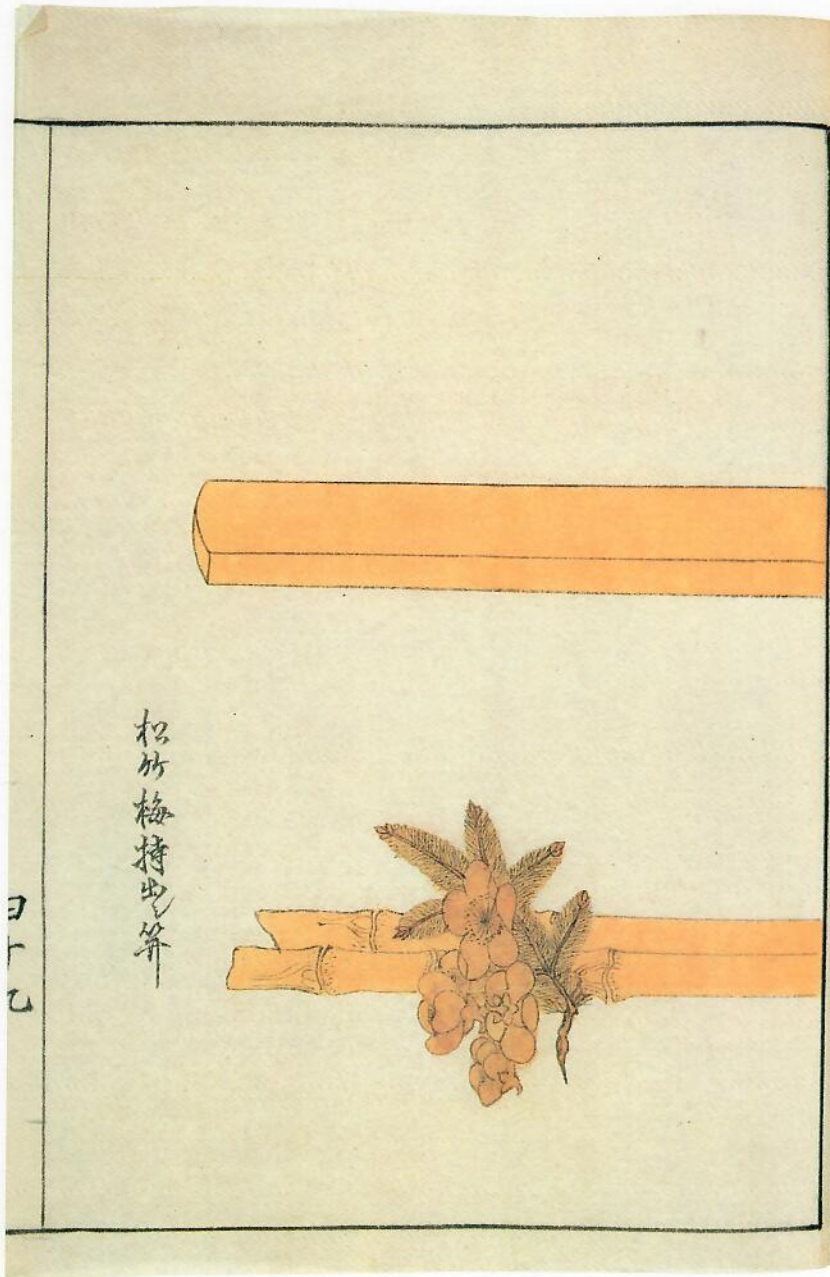
菊持出し肉彫



持出し筥

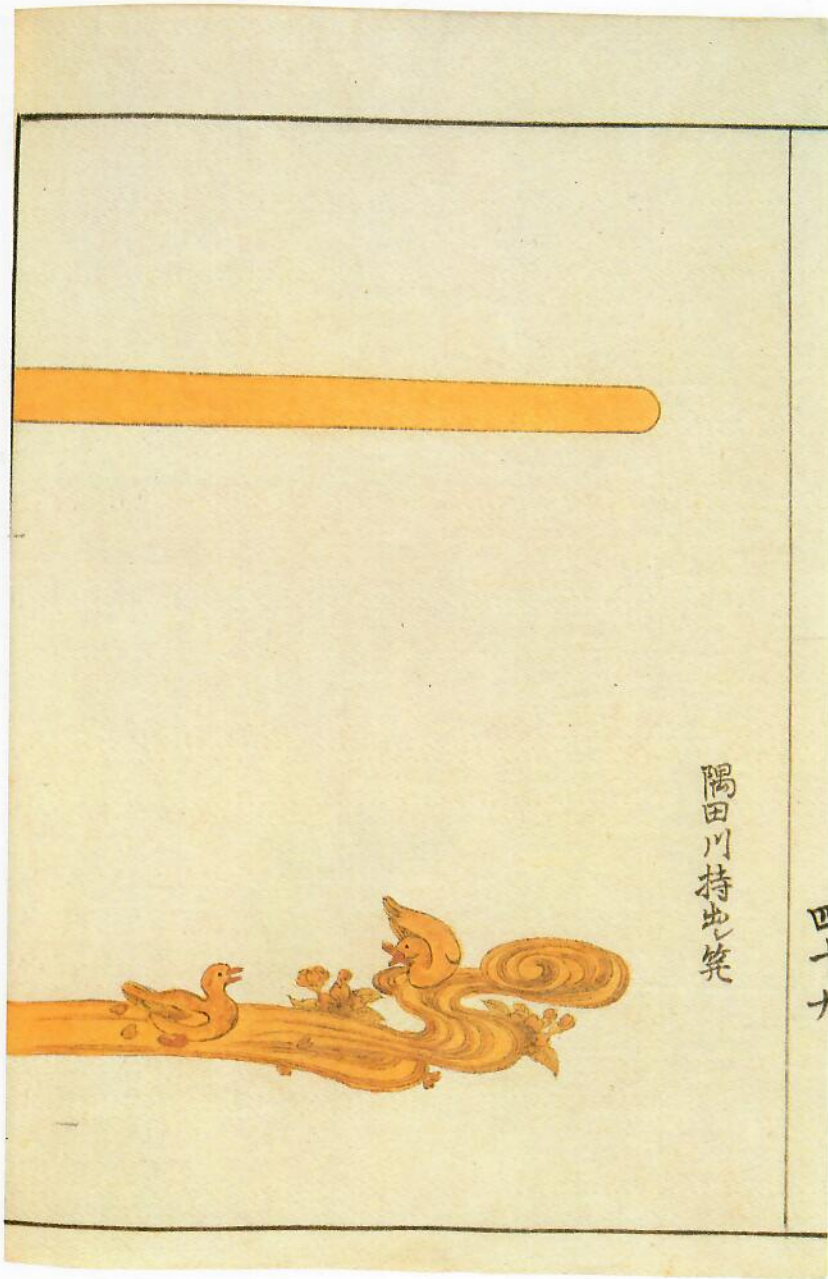
筥半肉より持出し

置揚肉彫



松竹梅持出し筭





隅田川持出し筈



右の外模様品々之れ有り

立木  
鶴取付  
梅花持出し彫

五

右の外模様品々之れ有り

立木 筭  
鶴取付  
梅花持出し彫

両差筭

為形名  
胴差筭

京都大坂  
長物  
世歌  
吉備



向指

小町足  
頭形  
長三寸五分位



三

両差筭

両頭にて  
胴にて巾狭し

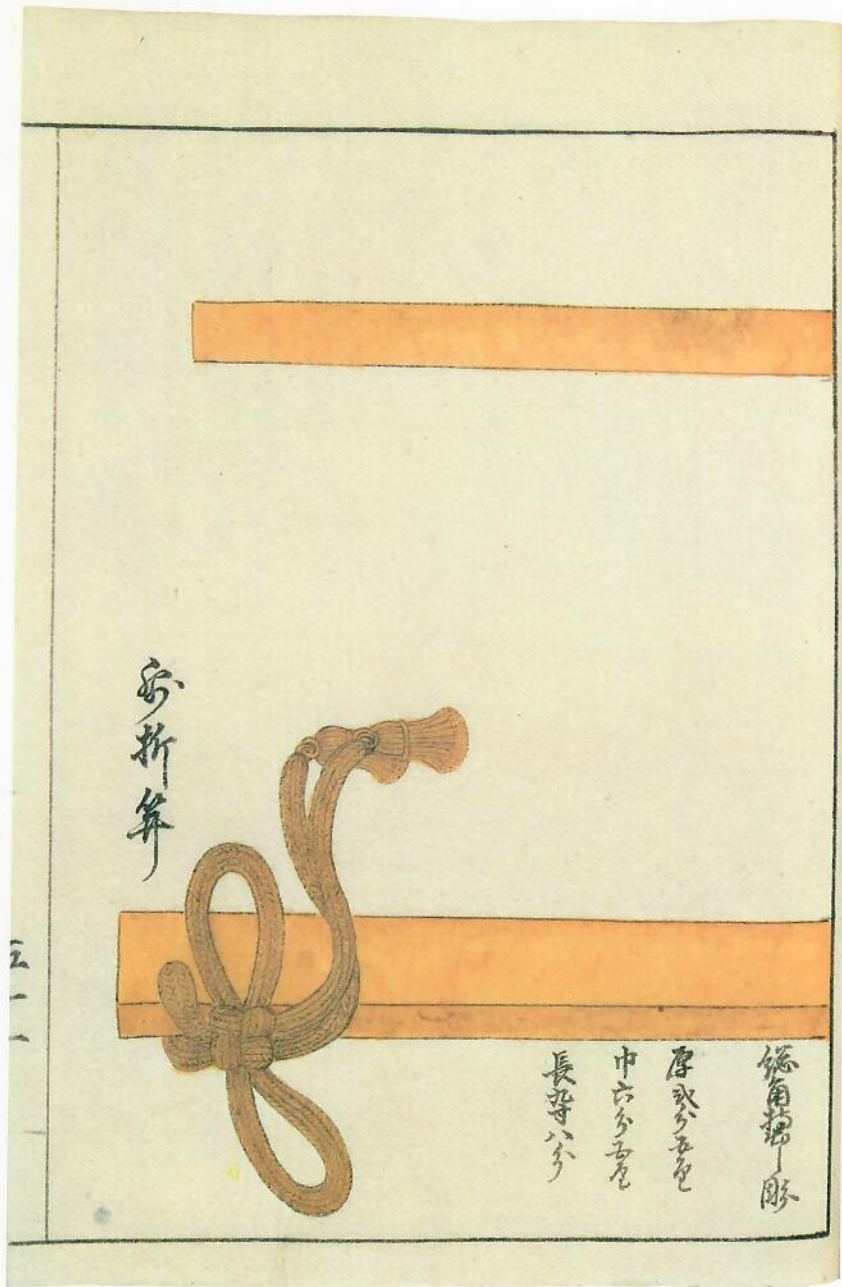
京都大坂長  
崎にては此  
の形の筭を  
専ら用ひる

向指

小町足

頭形

長三寸五分位



紙折笄

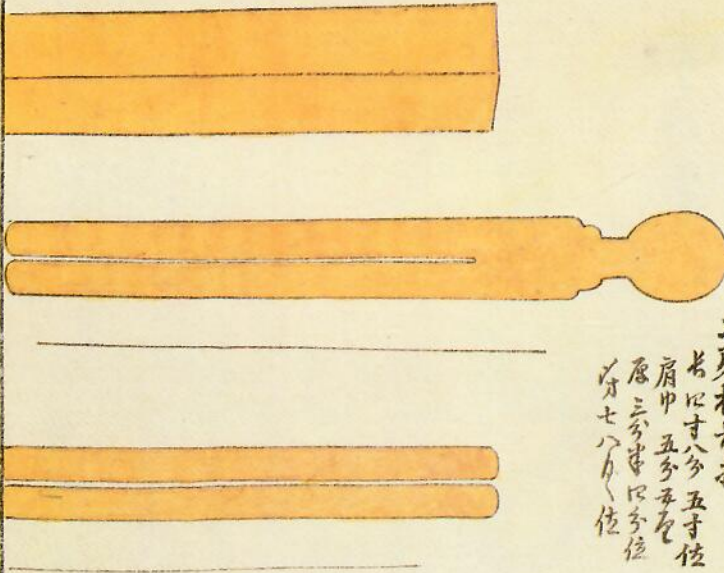
總角持出し彫  
 厚 貳分五厘  
 巾 六分五厘  
 長 九寸八分

天保年流布帛

格好少厚肉品無地専用  
 天保十年頃生地拂底高直故  
 品價も自ら貴く、極上品にては  
 二百双より三百双の物を扱ふ

角筭

長 八寸  
 巾 四分五厘  
 厚 四分三厘  
 目方 拾四五匁



丸琴柱前指

長 四寸八分五寸位  
 肩巾 五分五厘  
 厚 三分半四分位  
 目方 七八匁位

五十三

天保年流布圖

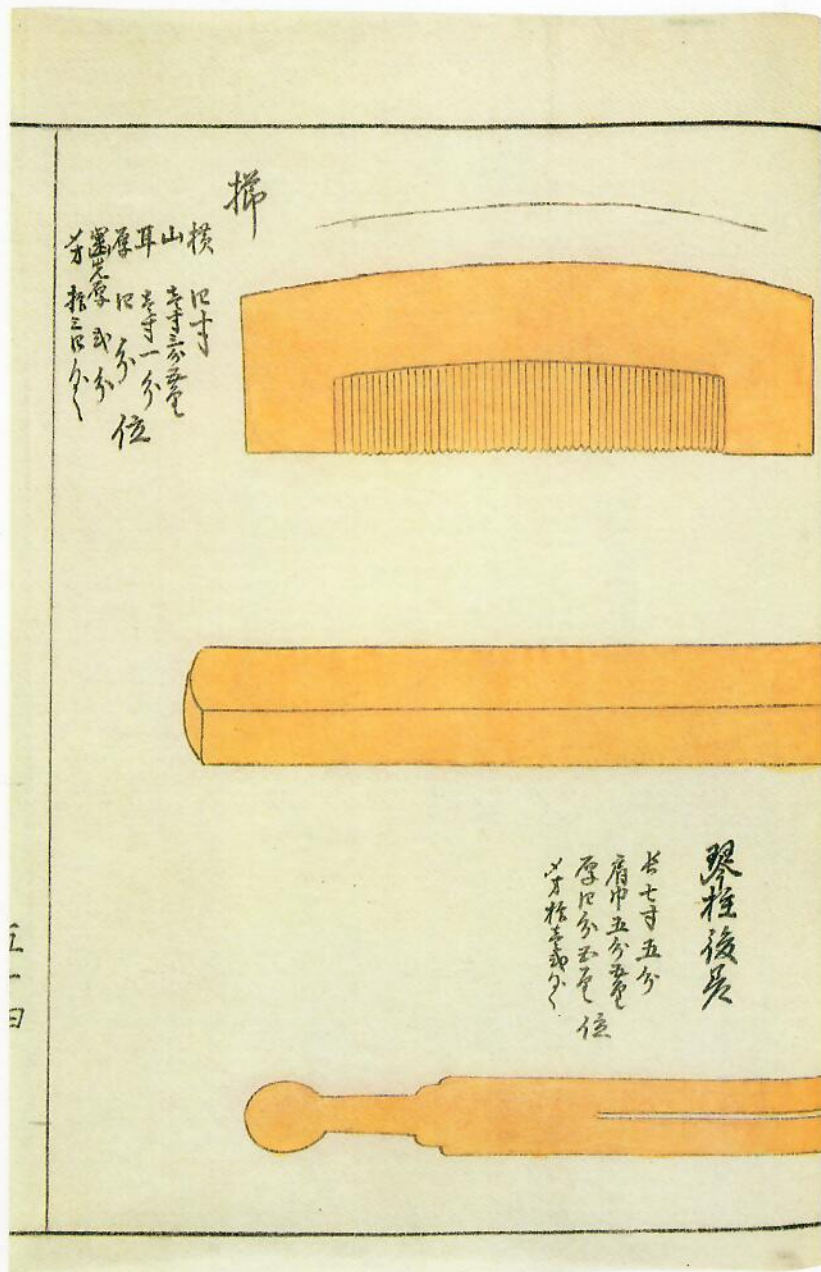
格好に少く厚肉品無地専ら用ひ  
 る、天保十年頃生地拂底高直故  
 品價も自ら貴く、極上品にては  
 二百双より三百双の物を扱ふ。

丸琴柱前指

長 四寸八分五寸位  
 肩巾 五分五厘  
 厚 三分半四分位  
 目方 七八匁位

角筭

長 八寸  
 巾 四分五厘  
 厚 四分三厘  
 目方 拾四五匁



擘

橫 四寸  
 山 壹寸三分五厘  
 耳 壹寸一分  
 厚 四分  
 齒先厚 貳分  
 方 拾三四分

琴柱後差

長 七寸五分  
 肩中 五分五厘  
 厚 四分五厘  
 方 拾壹貳分

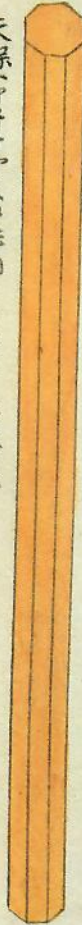
擘  
 橫 四寸  
 山 壹寸三分五厘  
 耳 壹寸一分  
 厚 四分  
 齒先厚 貳分  
 方 拾三四分

琴柱後差  
 長 七寸五分  
 肩中 五分五厘  
 厚 四分五厘  
 方 拾壹貳分

八角筭

天保一卯九月西宮御詔  
納リチヤ双上中色 駿竹作

長六寸  
角四分  
×七匁

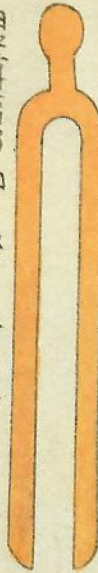


五十四

一重小町簪

天保六九月  
右同断納  
リチヤ双  
中上色  
同人作

長三寸九分 中六分三厘  
厚一分六厘 ×方  
貳匁八分付 耳抓内すくい  
外面取 内股角



松葉流茶指

長四寸八分五寸  
中五分  
厚三四分 位



八角筭

長六寸  
角四分  
×七匁

天保一卯九月西宮御詔  
納リチヤ双上中色 駿竹作

一重小町簪

長三寸九分 中六分三厘  
厚一分六厘 ×方  
貳匁八分付 耳抓内すくい  
外面取 内股角

天保六九月  
右同断納 同四二月右同断、納サ  
リチヤ双 同色 同人作  
中上色  
同人作

松葉流前指

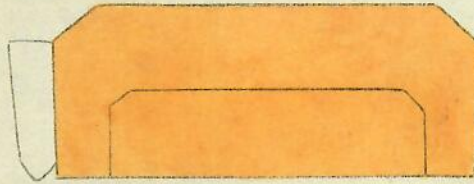
長四寸八分五寸  
中五分  
厚三四分 位

切面筭



長七寸  
 厚五分  
 角内五厚切面取  
 桐斑とろけ三斑

龜甲形櫛

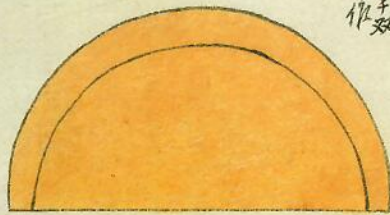


右同断リトヤモ双中上色上善作

天保六九月口以納スヤト双中上色百人作

横三寸  
 山一寸二分  
 厚三分七厘  
 耳九分五厘  
 角切三分八厘  
 齒四拾枚  
 桐斑とろけ三斑

半月形櫛



横貳分五厘・山壹寸三分  
 厚二分一厘・棟巾二分  
 齒挽付る

一重小町



長三寸三分 巾七分五厘  
 厚貳分五厘 耳抓内すくい  
 外股角

五十五

切面筭

長 三寸三分 巾 七分五厘  
 厚 貳分五厘 耳抓内すくい  
 足巾 貳分 外股角  
 内股角

一重小町

龜甲形櫛

右同断リトヤモ双中上色 上善作

天保六九月同断納スヤト双中上色 同人作

横 貳分五厘・山 壹寸三分  
 厚 二分一厘・棟巾 二分  
 齒挽付る 三友

半月形櫛

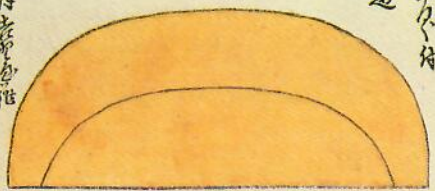
右同断スヤチ双 上色 駿竹作

横 三寸  
 山 一寸二分  
 厚 三分七厘  
 耳 九分五厘  
 角切 三分八厘  
 齒 四拾枚  
 七友壹分

長 七寸・四分角内五厚切面取  
 拾分五分 桐斑とろけ三斑



天保七十月吉野屋作  
トヤ双上色若鉄作



政子形櫛  
横 三寸  
山 壹寸貳分  
厚 三分  
棟巾 五分  
サヤ双上色  
若鉄作

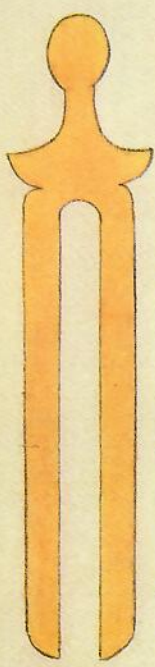
一重肩琴柱前指



長 五寸壹分  
巾 五分一厘  
厚 三分四厘  
外中面 内股角  
後透 五厘

天保七十月吉野屋作  
トヤ双上色若鉄作

松葉前差



長 四寸三分  
巾 七分五厘  
厚 貳分五厘  
外 四匁 足巾 貳分一厘  
内 股角 耳 爪 内 す くい

三二

一重肩琴柱前指  
長 五寸壹分 巾 五分一厘  
厚 三分四厘 後透 五厘  
肩長 八分 股透 五厘  
外中面 内股角

政子形櫛

横 三寸  
山 壹寸貳分  
厚 三分  
棟巾 五分  
サヤ双上色 若鉄作  
木櫛の通り  
平らにて  
齒先薄し

松葉前差

長 四寸三分 巾 七分五厘  
厚 貳分五厘  
外 四匁 足巾 貳分一厘 松開一寸  
内 股角 耳 爪 内 す くい

天保七十月吉野屋作  
トヤ双上色 駿竹作

松葉壹本足中差

長五寸四分 巾三分貳厘 厚三分一厘  
松葉開七分三厘 〆五匁 胴斑壹寸九分



右は角足面取足の二様有り

松葉壹本足中差

長五寸四分 巾三分貳厘 厚三分一厘  
松葉開七分三厘 〆五匁 胴斑壹寸九分

右は角足面取足の二様有り

耳抓中差

長六寸 巾四分 厚三分五厘  
〆五匁



耳抓中差

長六寸 巾四分 厚三分五厘  
〆五匁

両差貝形筭  
但し両頭也

長五寸三分 巾四分三厘 厚三分  
〆五匁成寸 胴入



両差貝形筭

但し両頭なり  
長五寸三分 巾四分三厘 厚三分  
〆五匁貳分 胴入



花筭

指込有以筭  
花筭ト云

差込  
南天ニシマ鳩  
同実珊瑚珠  
鴝胸ニ黒甲

指込 一名無双

楓  
山鶺

是れニ大サ筭向七八拾匁付  
位物有

五十一

花筭

指込付候筭を

花筭ト云ふ

指込 一名無双

楓  
山鶺

是れなどの大きさ  
筭向七八拾匁付  
位物有り。

差込

南天にシマ鳩

同実珊瑚珠

鴝胸は黒甲

花筭、徳候方古  
多用、市中、用事  
稀也



胡蝶形指込

平にて無彫後差へ付ける  
厚壹分五厘一對、三匁四分  
甲にて持出しくだ



右は天保六末八月西宮御詔にて  
始まる上定作

五十二

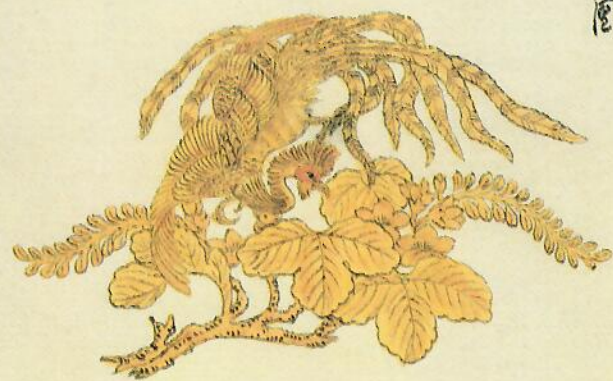
花筭は諸候方にて多く  
用ひる市中に用ひる事  
稀なり。

胡蝶形指込

平にて無彫後差へ付ける  
厚壹分五厘一對、三匁四分  
甲にて持出しくだ

右は天保六末八月西宮御詔にて  
始まる上定作

桐に鳳凰



菊に蝶



雀に蛤



桐に鳳凰

雀に蛤

菊に蝶

右差込大小種々大形は多  
 分弁へ付候なり中形にて  
 下は後差前指へ付ける肉彫  
 の物大いに流行す。模様  
 品々悉く圖し難し。

指込の管  
 杉板を拵り或は笄簪等  
 巾厚みに應じ作る

ツク穴  
 ツクをつら抜  
 中にて焼止める



梅花



柏カシ鷹トカ

五十八

指込の管

柏に鷹

紛板にて拵へる或は笄簪など  
 巾厚みに應じ作る

ツク穴

ツクをつら抜

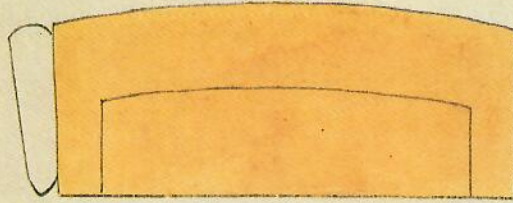
中にて焼止める

梅花

右差込大小種々、大形は多  
 分弁へ付候なり中形にて  
 下は後差前指へ付ける肉彫  
 の物大いに流行す。模様  
 品々悉く圖し難し。

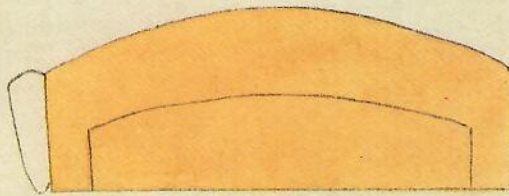
角形楯

若鉄作  
 横 三寸五分  
 山 三寸五分  
 耳 三寸五分  
 厚 七分



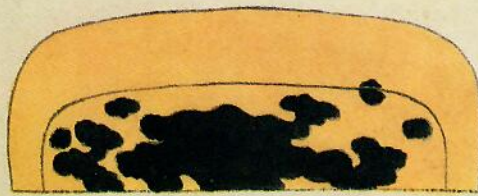
閑清形楯

若鉄作  
 横 三寸五分  
 山 三寸五分  
 耳 三寸五分  
 厚 七分



京丸形楯

丸棟  
 横 三寸五分  
 山 三寸五分  
 耳 三寸五分  
 厚 七分



閑清形楯 駿亀作

丸棟 横 三寸三分  
 ばらふ 厚 三分位

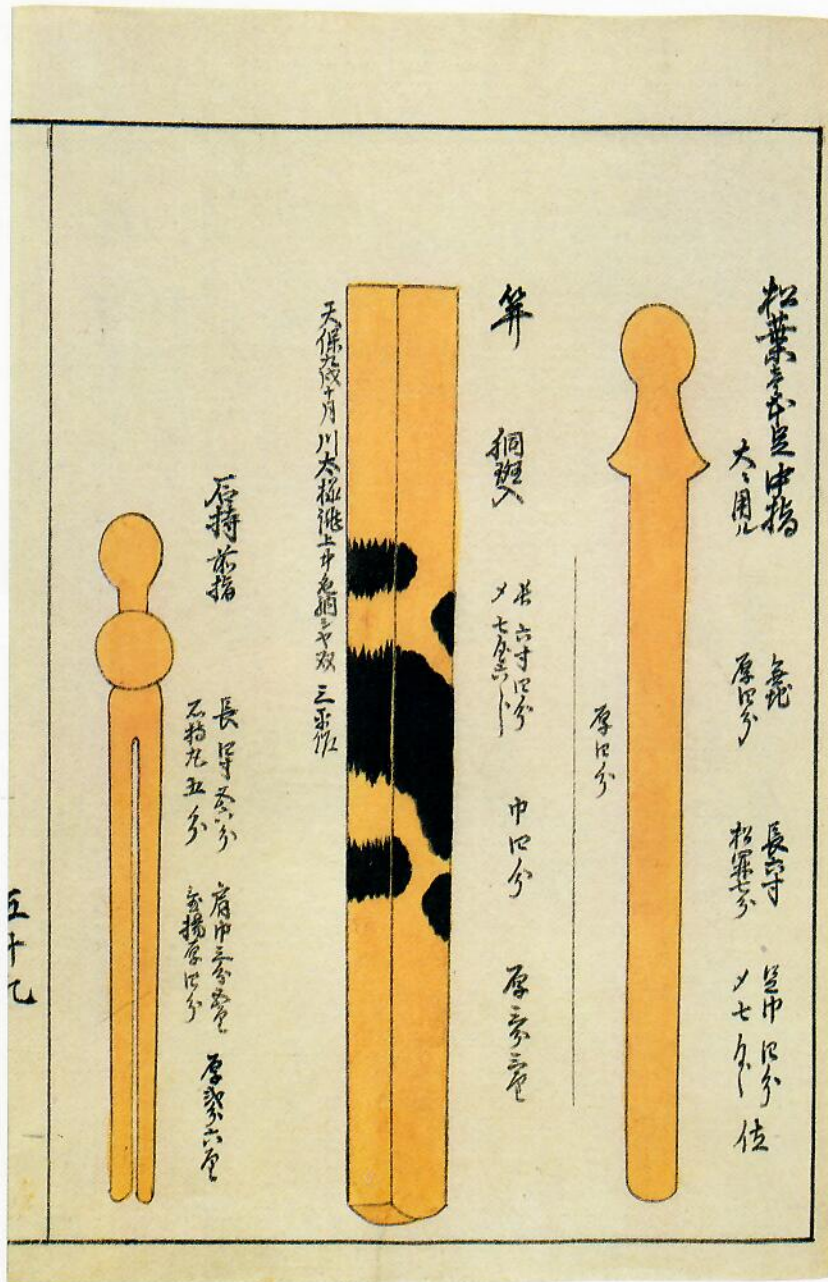
角形楯 若鉄作

丸棟 横 三寸壹分六厘  
 山 壹寸三分三厘  
 耳 壹寸一分七厘  
 厚 三分五厘  
 丸棟 横 三寸壹分六厘  
 山 壹寸三分三厘  
 耳 壹寸一分七厘  
 厚 三分五厘  
 丸棟 横 三寸壹分六厘  
 山 壹寸三分三厘  
 耳 壹寸一分七厘  
 厚 三分五厘

丸棟 横 六分五厘

耳 八分  
 山 壹寸貳分五厘  
 横 三寸三分

京丸形楯



松葉壹本足中指

大いに用ひる

無地 長 六寸 足巾 四分

厚 四分 松開 七分 メ 七又 位

厚 四分

筭 胸斑入

長 六寸四分 巾 四分 厚 三分三厘

メ 七又六分

天保九戌十月川太様誂上中色納シヤ双

三平作

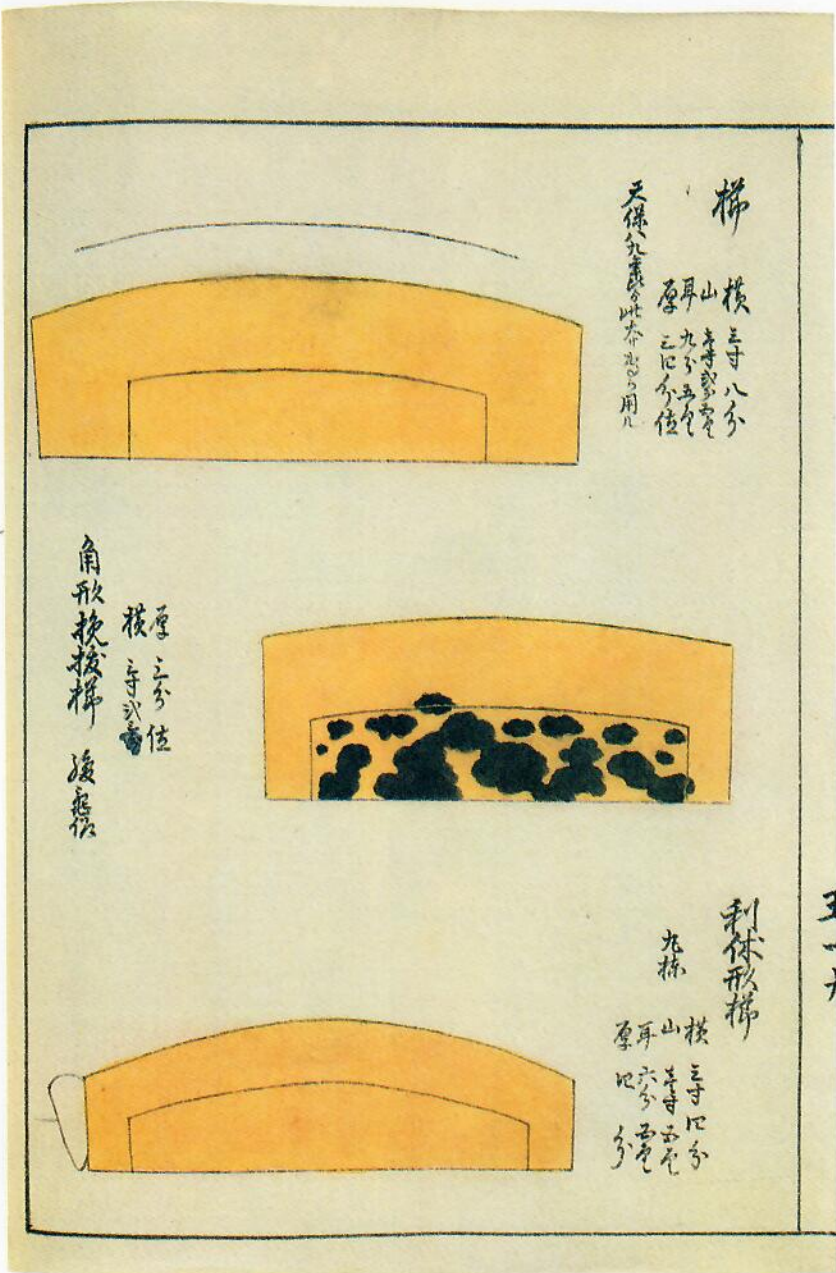
石持前指

長 四寸五分 肩巾 三分五厘

厚 貳分六厘

石持 九五分 置揚厚 四分





梯  
 横 三寸八分  
 山 九分五厘  
 耳 九分五厘  
 厚 三寸二分  
 天保八九年頃より此の大きさ  
 専ら用ひる

角形挽抜梯  
 厚 三分位  
 横 三寸貳分  
 駿龜作

利休形梯  
 横 三寸二分  
 山 三寸二分  
 耳 六分五厘  
 厚 四分

梯

横 三寸八分

山 壹寸貳分五厘

耳 九分五厘

厚 三寸四分

天保八九年頃より此の大きさ  
 専ら用ひる

利休形梯

丸棟

横 三寸四分

山 壹寸五厘

耳 六分五厘

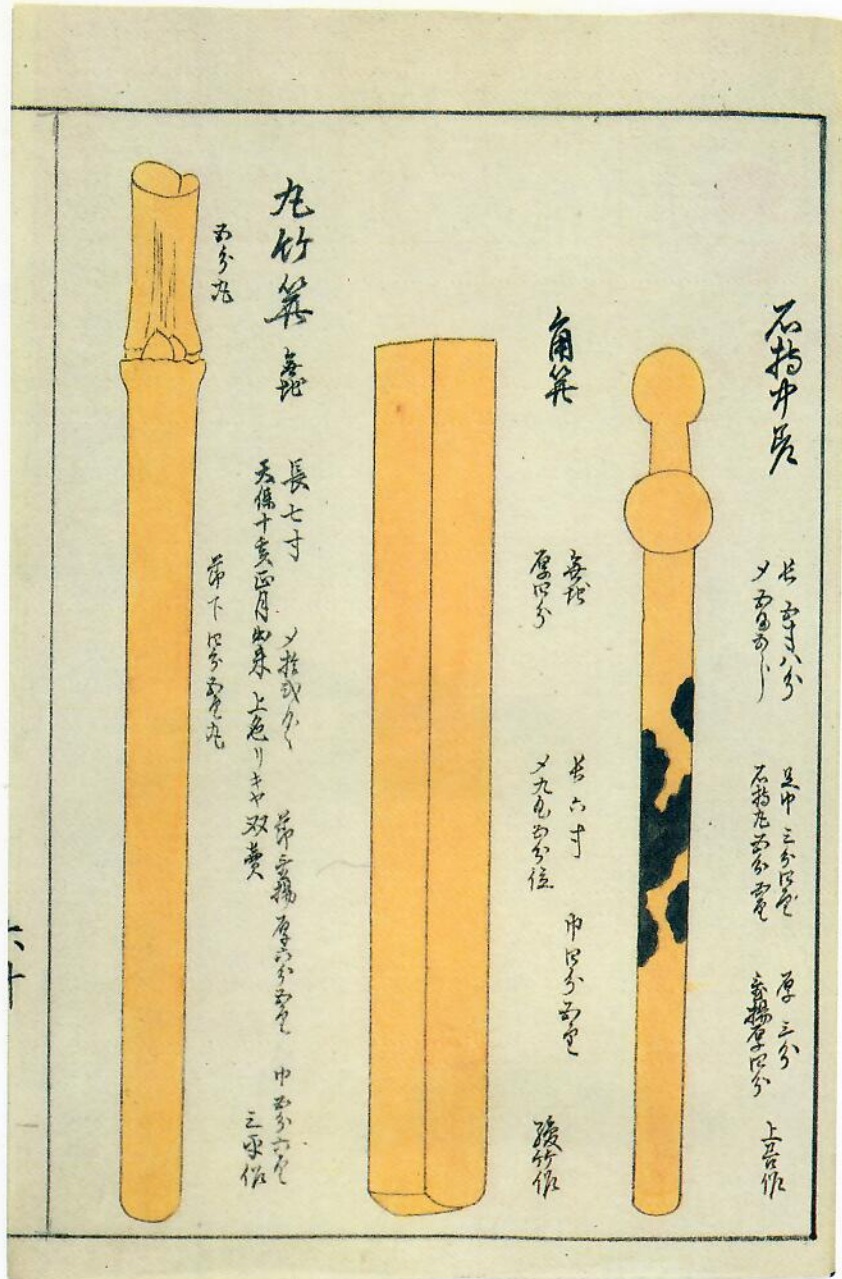
厚 四分

角形挽抜梯

厚 三分位

横 三寸貳分

駿龜作



丸竹筭

五分丸

長七寸

ノ指取カ

節置揚厚六分五厘

中五分六厘  
三平作

天保十亥正月出来上色リキヤ双賣

丸竹筭 無地 三平作  
長七寸 ノ拾貳分  
節置揚厚六分五厘 中五分六厘  
天保十亥正月出来上 色リキヤ双賣  
五分丸  
節下四分五厘丸

角筭

無地  
厚四分

長六寸  
ノ丸取カ

中四分五厘

駿竹作

角筭 駿竹作  
無地 長六寸 中四分五厘  
厚四分 ノ丸取五分位

石持中尺

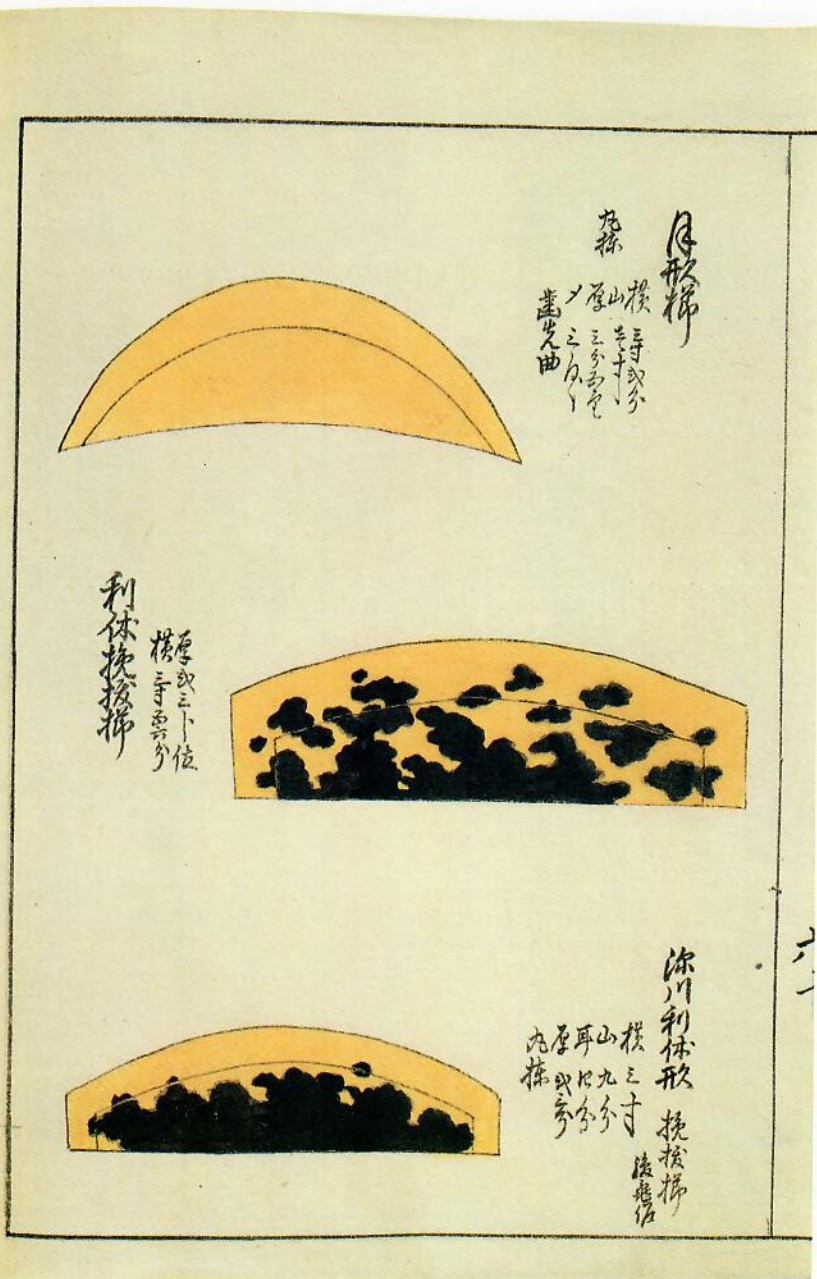
長五寸八分  
ノ五分取カ

足巾三分四厘  
石持丸五分五厘

厚三分  
置揚厚四分

上善作

石持中差 上善作  
長五寸八分 足巾三分四厘  
厚三分 ノ五分五分  
石持丸五分五厘 置揚厚四分



月形櫛  
 横 三寸二分  
 山 三寸五分  
 厚 三寸五分  
 丸棟  
 齒先曲

利休挽抜櫛  
 厚 貳三寸位  
 横 三寸五分

深川利休形 挽抜櫛  
 横 三寸  
 山 九分  
 厚 貳寸五分  
 丸棟  
 齒先曲

月形櫛

丸棟  
 横 三寸二分  
 山 壹寸  
 厚 三分五厘

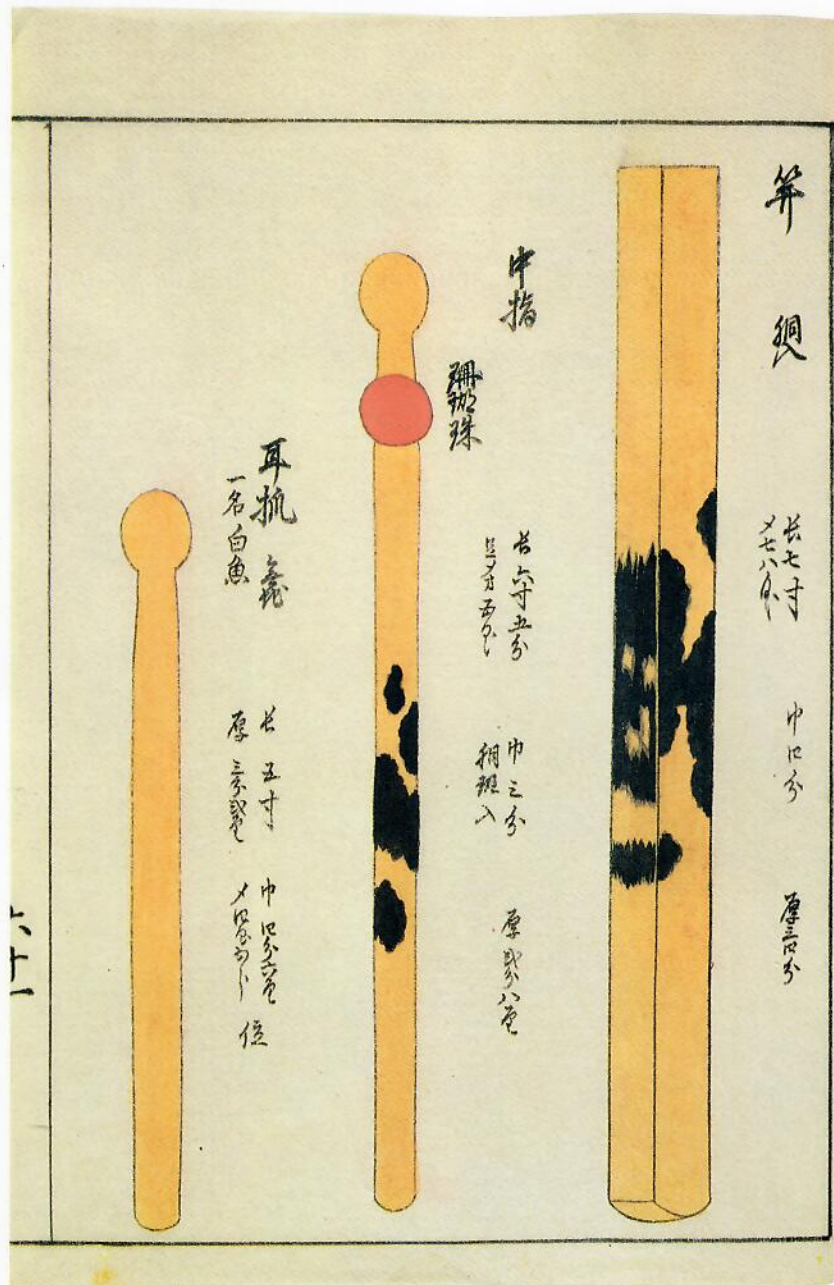
齒先曲

深川利休形 挽抜櫛

駿龜作

横 三寸  
 山 九分  
 耳 四分  
 厚 貳三分  
 丸棟

利休挽抜櫛  
 厚 貳三分位  
 横 三寸五分六分



筭 須

長七寸  
×七八分

巾四分

厚四分

筭 胴入

長七寸 巾四分 厚三四分  
×七八分

中指

珊瑚珠

長六寸五分  
×五分

巾三分  
胴入

厚四分

中指

長六寸五分 巾三分  
厚貳分八厘  
珊瑚珠 足×方五分 胴入

耳抓 龜

一名白魚

長五寸  
厚三分

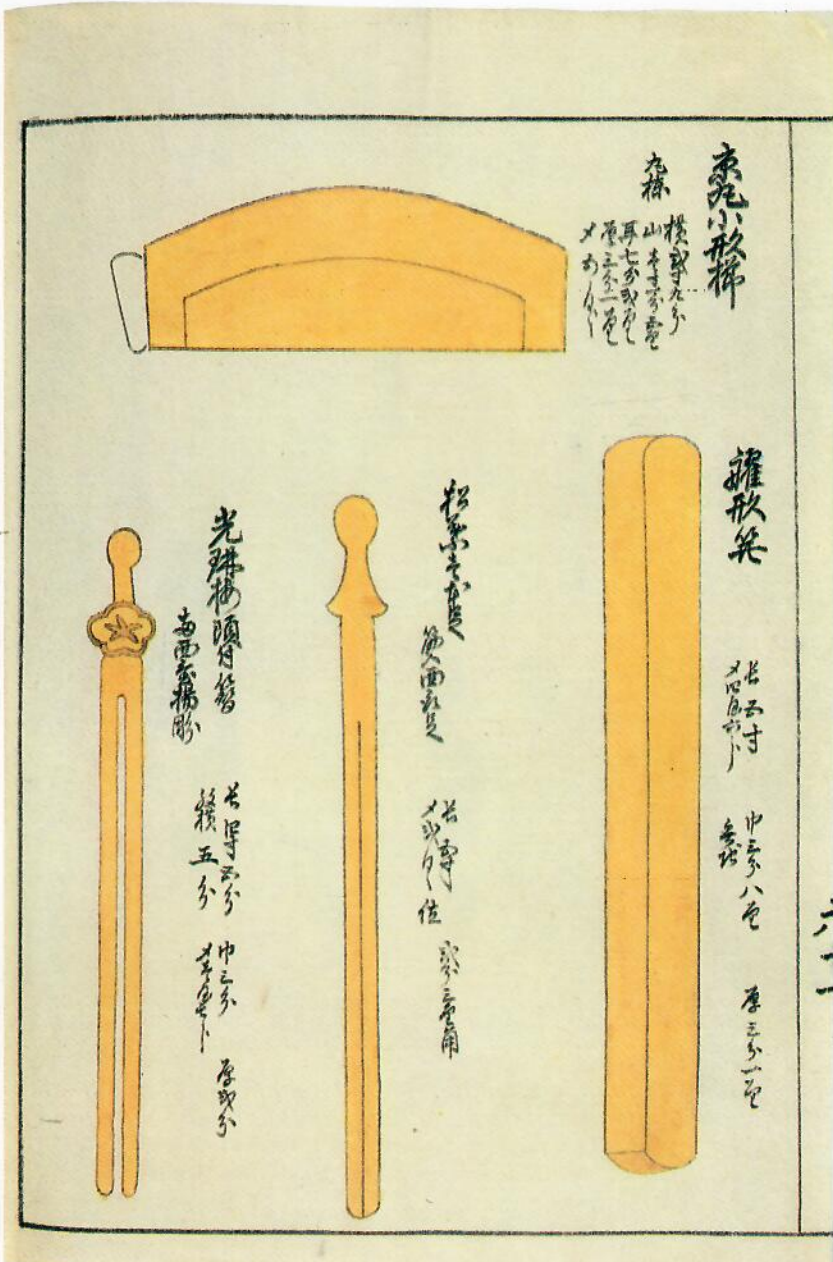
巾四分  
×四分

耳抓 無地

一名白魚

長五寸 巾四分六厘  
厚三分貳厘 ×四分五分 位

六十一



京丸小形櫛

丸棟 横貳寸九分  
山 壹寸一分五厘  
耳 七分貳厘  
厚 三分一厘

權形笄

長 五寸  
巾 三分八厘  
厚 三分一厘

松葉堂本足

筋入面取足  
長 五寸  
厚 三分一角

光琳梅頭付簪

東西置揚彫  
長 四寸五分  
巾 三分  
厚 貳分  
紋横 五分

京丸小形櫛

丸棟 横 貳寸九分  
山 壹寸一分五厘  
耳 七分貳厘

厚 三分一厘  
五匁

權形笄

長 五寸 巾 三分八厘 厚 三分一厘  
四匁六分 無地

松葉堂本足

長 五寸 筋入面取足  
貳分三厘角  
五匁

光琳梅頭付簪

東西置揚彫  
長 四寸五分 巾 三分 厚 貳分  
紋横 五分 五匁七分

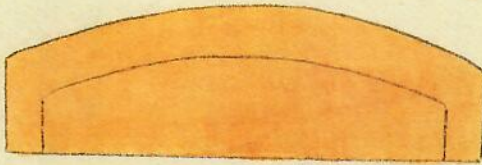
櫛

厚二分五厘  
耳八分八厘  
山壹寸壹分  
横三寸四分  
無地ノ七匁五分



利休形櫛

丸棟  
横三寸三分  
山壹寸  
耳六分  
厚三分  
ノ五六匁

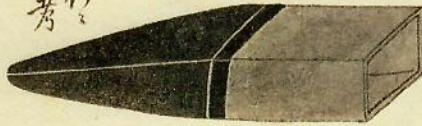


黒甲筭指巻

筭巾厚みなどに應じ作る

中穴一寸位  
巻付なり

筭角立流行に付き  
天保の始め自ら考へて  
令作らしむ



利休形櫛

横 三寸三分

山 壹寸

丸棟

耳 六分

厚 三分

ノ 五六匁

黒甲筭指巻

筭巾厚みなどに應じ作る

中穴一寸位  
巻付なり

櫛

厚 三分五厘

耳 八分八厘

山 壹寸壹分

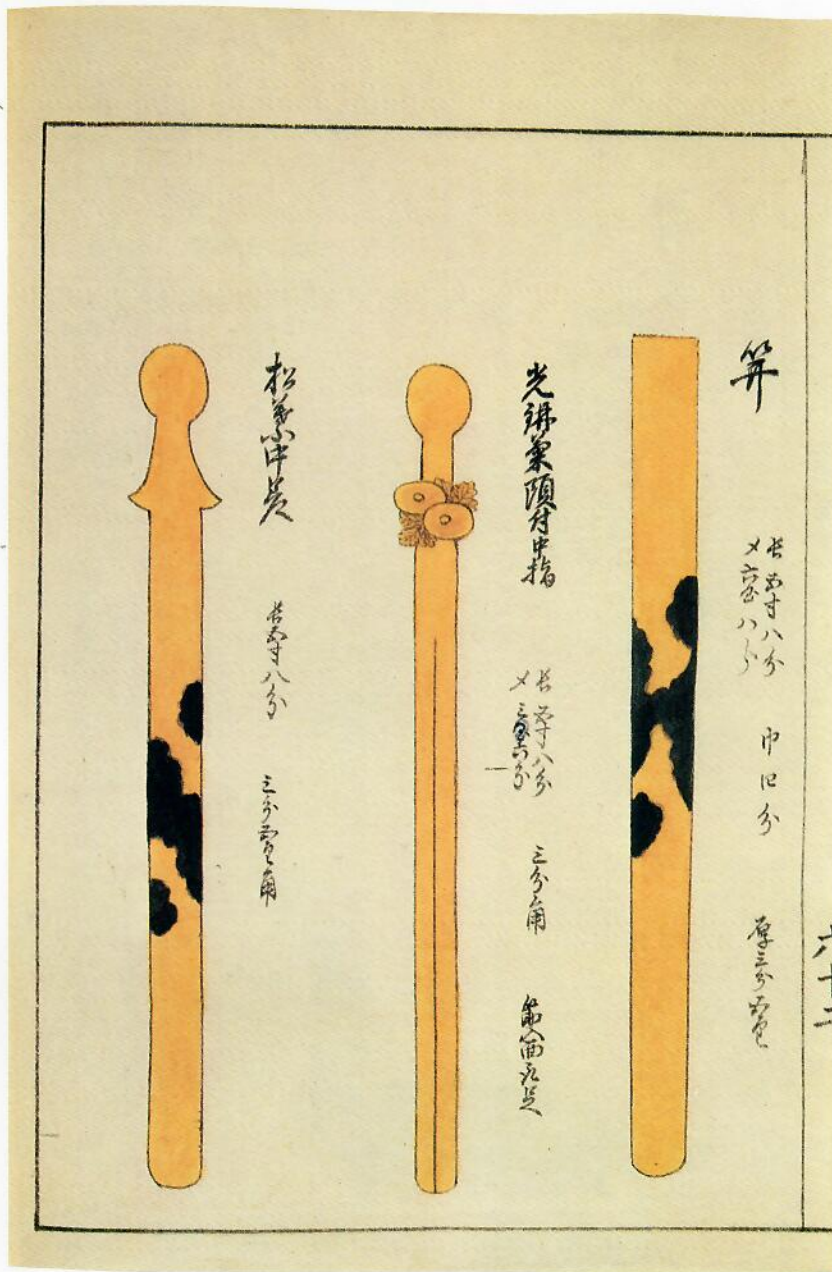
横 三寸四分

無地ノ 七匁五分

筭角立流行に付き

天保の始め自ら考へて

之れを作らしむ



筭

長五寸八分  
ノミ六分

巾四分

厚三分五厘

六十二

光琳菊頭付中指

長五寸八分  
ノミ三分

三分五厘

筋入面取足

松葉中差

長五寸八分

三分五厘角

筭

長五寸八分  
ノミ六分

巾四分

厚三分五厘

光琳菊頭付中指

長五寸八分  
ノミ三分

三分五厘

筋入面取足

松葉中差

長五寸八分 三分五厘角

梅頭付中指

紋両面置揚彫

ト口ケ胴



蛇腹面取筭

四方竪に中高  
上下内

長六寸  
メ九分四厘

上巾四分四厘  
下巾四分四厘  
同厚四分



天保十一子六月始め形、制上等各  
コリサヤ双賣 駿竹作

自模作

梅頭付中指

紋両面置揚彫

ト口ケ胴

蛇腹面取筭

四方竪に中高  
上下内

長六寸 上巾四分四厘  
同厚四分四厘  
メ九分四厘  
下巾四分四厘 同厚四分

天保十一子六月始めて此の形を制す。  
上々色合 コリサヤ双賣 駿竹作

自模作



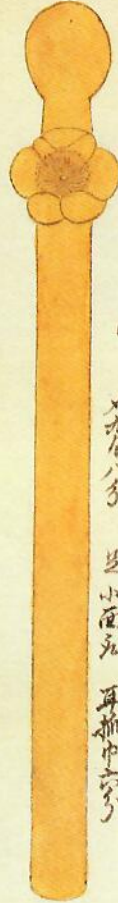
梅頭付中指

横肉合巻

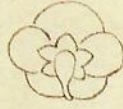


裏面図

長六寸 巾四分 厚四分  
耳爪中六分



頭裏合 横八分 置揚厚八分



天保十一年十一月三日作 上色リモヤ双

此目方付中指始制

梅頭付中指

横肉合圖

裏面圖

長六寸 巾四分 厚四分  
耳爪中六分

頭裏圖

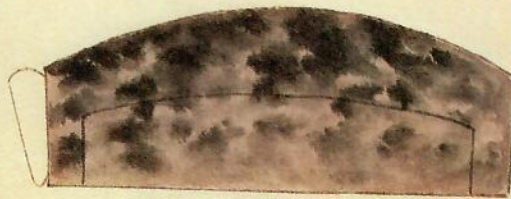
横八分 置揚厚八分

此の如き目方付き候  
中指始めて制す。  
天保十一年十一月三日作 上色リモ  
ヤ双

挽拔牡丹形櫛



赤斑京丸形櫛  
丸棟



蒔繪下地

黒甲乙女形櫛  
丸棟  
蒔繪下地



六十四

挽拔牡丹形櫛

蒔繪下地

丸棟

黒甲乙女形櫛

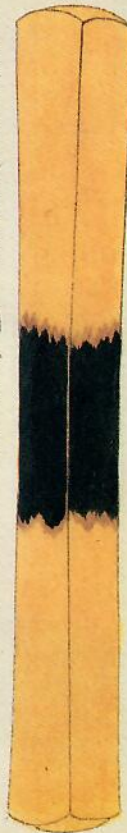
蒔繪下地

赤斑京丸形櫛

丸棟

両指籠形筭

長 五寸七分 両頭巾 四分五厘 厚 三分七厘



両差は両頭にして上下無し。黒斑胴に入りたる物必ず真中に入るべし。胴黒壹寸五分 此くの如き黒胴をブツツリ胴と云ふ。

新牡丹形櫛

三寸 又三寸五分 厚 二分



丸玉頭 壹本足中差 角足 面取 様々 一名水玉但し玉真丸 長 五寸五分 厚 二分

耳抓竹中指

丸足仕立



節置揚彫 長 五寸より五寸五分位 丸 三分位

両指籠形筭

長 五寸七分 両頭巾 四分五厘 厚 三分七厘

両差は両頭にして上下無し。黒斑胴に入りたる物必ず真中に入るべし。胴黒壹寸五分 此くの如き黒胴をブツツリ胴と云ふ。

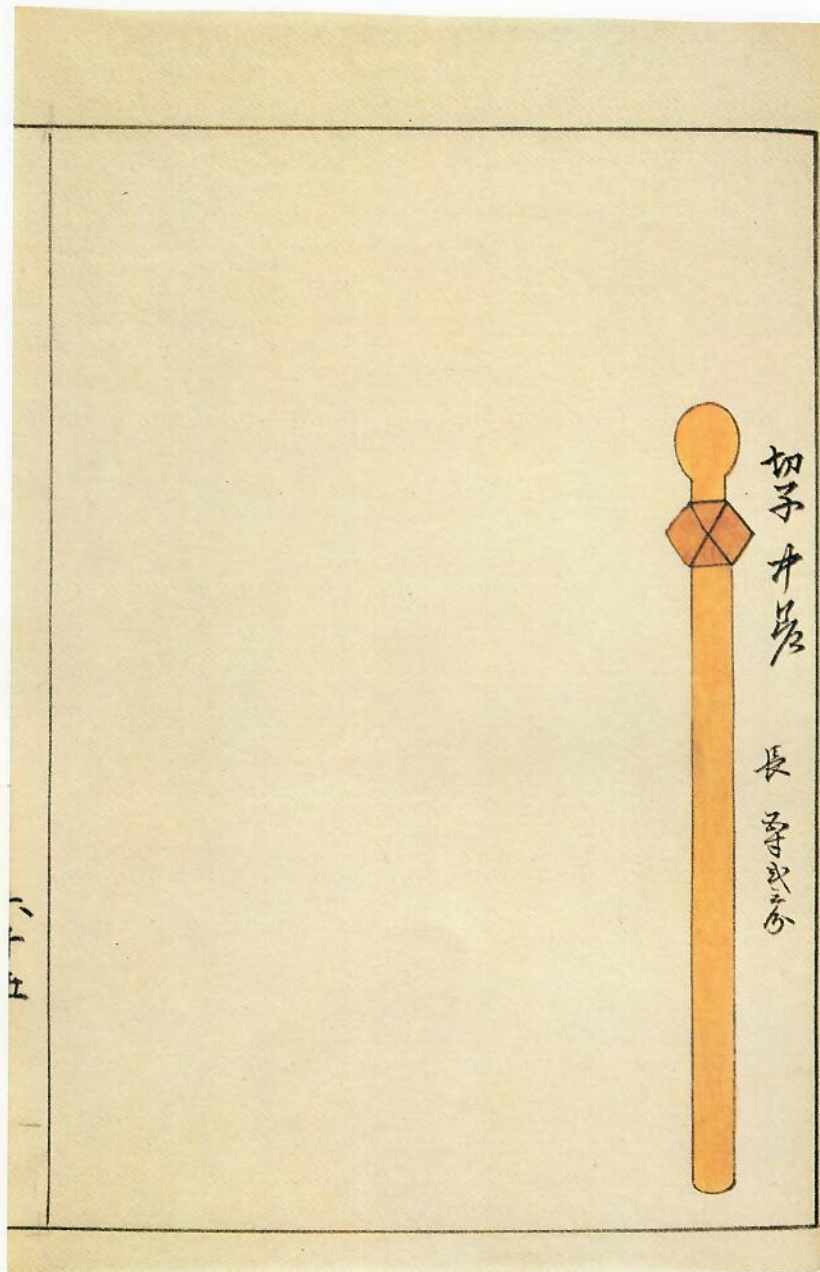
新牡丹形櫛

三寸 又三寸五分 厚 二分

丸玉頭 壹本足中差 角足 面取 様々 一名水玉但し玉真丸 長 五寸五分 厚 二分

耳抓竹中指 丸足仕立

節置揚彫 長 五寸より五寸五分位 丸 三分位



切子中差

長五寸二分

切子中差  
長五寸二分

弘化年流布圖

横

横 三寸八分  
山 壹寸貳分  
耳 九分  
厚 四分

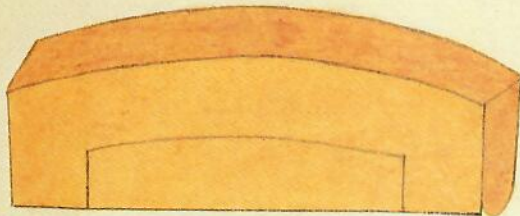
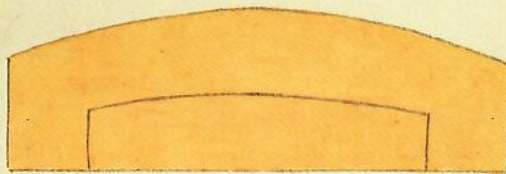
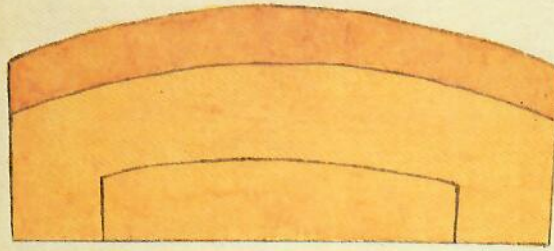
同

同

横 三寸八分  
山 壹寸貳分  
耳 九分  
厚 四分

同

横 三寸八分  
山 壹寸貳分  
耳 九分  
厚 四分



弘化年流布圖

横

横 三寸八分

山 壹寸貳分

耳 九分

厚 四分

拾壹分

拾壹分

同

三寸五分

壹寸壹分

八分

厚 三分五厘

四分

八九分

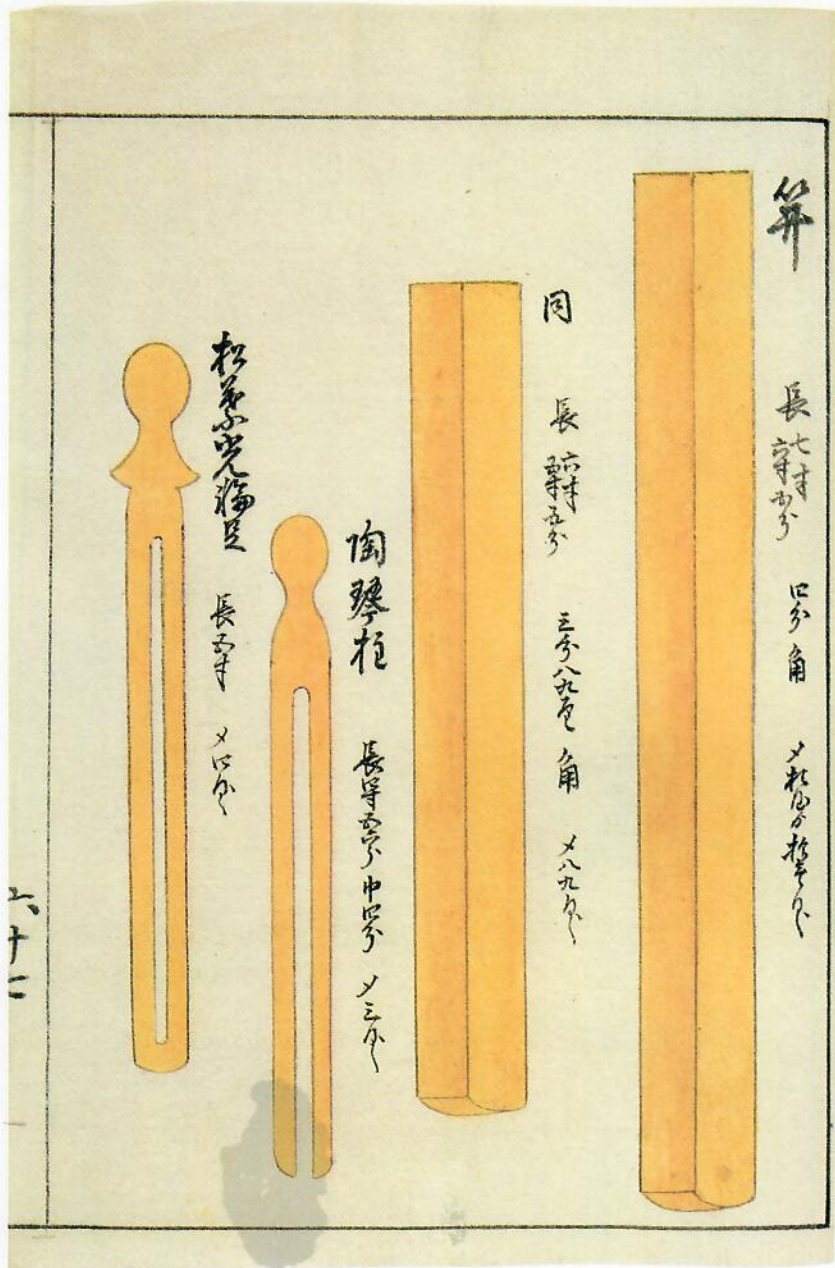
同

三寸三分

壹寸五厘

七分五厘

七八分



六十二

松葉光輪足 長五寸 ヌ四分

陶琴柱  
長四寸五分 巾四分 ヌ三分

同  
長六寸三分八九厘角 ヌ八九分

筭  
長七寸四分角 ヌ拾分より拾壹分

品川利休櫛  
丸棟  
三寸二分  
五分五厘  
四分



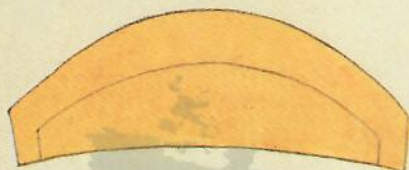
利休形櫛  
丸棟  
三寸二分  
五分五厘  
四分



利休形櫛  
丸棟  
三寸二分  
五分五厘  
四分



月形耳切櫛  
丸棟  
三寸二分  
五分五厘  
四分



二一

品川利休櫛  
丸棟

三寸  
八分八厘  
三分五厘  
二分五厘  
二又八分

利休形櫛

三寸三分  
壹寸  
五分五厘  
三分八厘  
五又六分  
丸棟

月形耳切櫛  
一名 束形

貳寸八九分  
壹寸  
四分  
三分四分  
三四分  
角棟丸棟有り

三寸二分  
壹寸  
五分五厘  
三四分  
四五分  
利休形櫛



向差 壹輪

牡丹に蝶  
蝶針がね止

持出耳抓中差

花 半肉より 但し花は様々  
置揚彫 長 五寸五分位  
巾 二分五六厘 厚 三分五厘  
胴斑入又は無地

丸玉光輪足立指 長 四寸五分 五寸  
丸玉四分五厘位 巾 三四五匁

京耳 耳抓中差

又角耳 長 四五寸  
巾 三四分 厚 三四分  
四匁五分位

上定作 服甲花

甲 足  
シヤ

陶耳抓中差 長 四五寸



487  
1  
2

文久二年歲次壬戌閏八月吉日

河尻主人之應需於南窓寫之

大堀廣方



七十

文久二年歲次壬戌閏八月吉日

河尻主人の需めに應じ南窓に於て之れを写す

大堀廣方



復版 玳瑁龜図説 天・地

非売品

発行日 昭和五十七年十月十日

編者 金子直吉

校者 石川泓美

発行所 東京鼈甲組合連合会

東京鼈甲工芸品工業協同組合

東京都台東区蔵前四一八一三〇

☎111電話〇三(八五一)七六〇八

東日本ベツ甲事業協同組合

東京都文京区千駄木三十三三十七一十五

☎113電話〇三(八二三)〇〇三八

東京装粧品協同組合

第四部鼈甲工芸品部

東京都中央区東日本橋二一二十七一七

☎103電話〇三(八六二)九九四六

印刷所 藤井印刷株式会社

復版「珠璣龜圖說」天、地

編者 益子道吉  
校者 石川鴻英